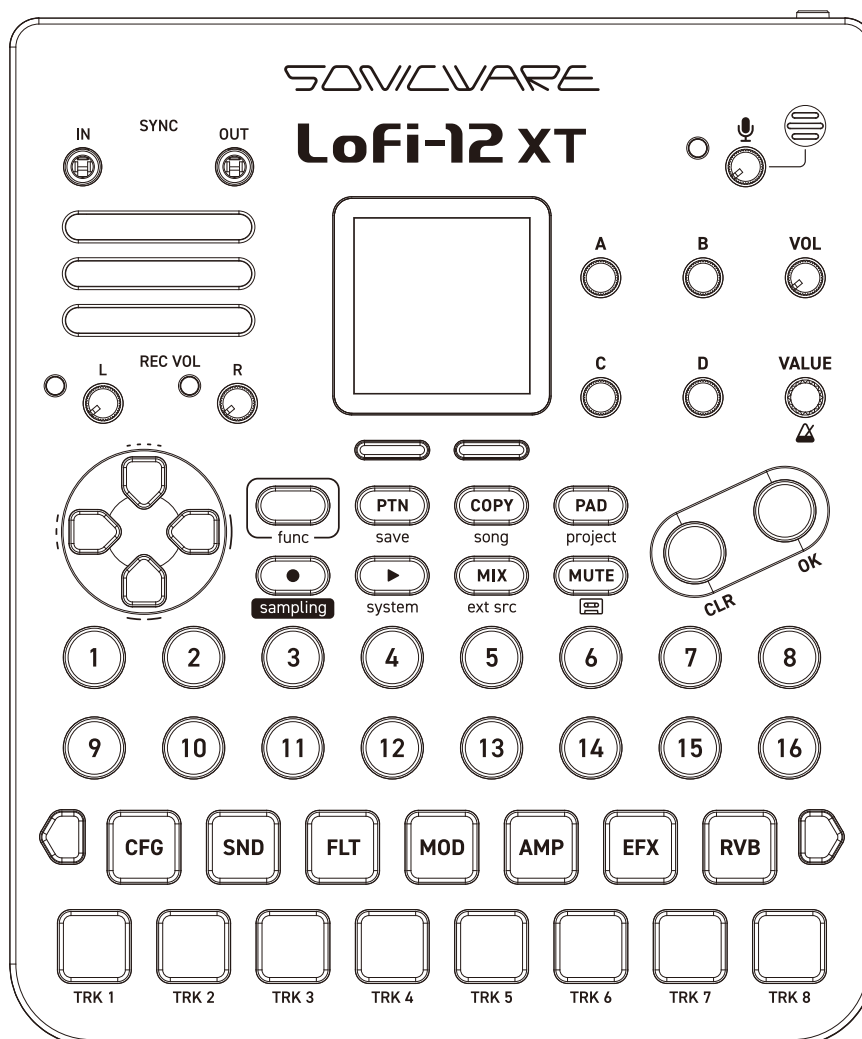


LoFi-12 XT

Manual

Rev.1



FCC regulation warning (for USA)

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

法的免責事項

株式会社ソニックウェア（以下「SONICWARE」といいます）は、本文書が正確かつ最新のものであることを確保すべく努力致しますが、本文書に掲載されている内容に起因するいかなる賠償要求や損失に対してもその責任を一切負わないものとします。また、本文書の情報は、予告なく変更される可能性があります。SONICWARE は、随時、製品の仕様、プログラムの変更する権利を保有するものとします。SONICWARE は、本文書に示される全ての誤りの責任を負いません。SONICWARE は、契約、不注意、その他の行為に関わらず、本情報の使用または機能、性能から生じるいかなる損害に対しても、責任を負いません。

著作権、登録商標について

- ・SONICWARE は株式会社ソニックウェアの登録商標です。
- ・MIDI は社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- ・Windows® 10 / Windows® 8 / Windows® 7 / Windows® は Microsoft® 社の商標または登録商標です。
- ・Mac / macOS / iOS / iPad は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- ・本文書内のその他の会社名、製品名、規格名、登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。
- ・本文書内の全ての商標および登録商標は各所有者の著作権を侵害する意図ではなく、識別のみを目的として記載しています。
- ・他の者が著作権を保有する音声ファイル、CD、レコード、ビデオ、テープ、放送、ストリーミング、作品などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。
- ・著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ソニックウェアは一切の責任を負いません。
- ・本製品に内蔵または付属されているコンテンツ（PCM サンプルデータ、オーディオデータ、サウンドおよびパターンプログラムデータ等）は、株式会社ソニックウェアが著作権を所有しているか、ライセンス許諾を得て使用しているものです。

本機で、これらのコンテンツを使用して制作または演奏された音楽作品は、自由に録音や配布を行うことができますが、コンテンツの一部または全部を収録されている形のまま、あるいはフォーマットを変更した形の如何を問わず、第三者へ使用許諾、譲渡、販売、転売、再配布、貸与、賃貸、リース、送信、およびサーバーへのアップロードやサーバーからのダウンロードを可能にすること、本製品の競合製品（実機製品、サンプリングデータ集などを含み、これに限りません）に使用することは固く禁止します。

安全に関する重要な注意事項

安全にご使用頂き、事故を未然に防ぐために、以下の注意事項を必ずお読みください。

<警告>この注意事項を守らないと使用者が死亡または重症を負う危険がある内容を示しています。

- ・ AC アダプターでの動作
コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。
雷が発生しているとき、長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- ・ 電池での動作
市販の 1.5V 単三アルカリ乾電池を使用してください。
ご使用の電池の注意事項をよくお読みになってください。
電池の+ / -極を正しく挿入してください。
新しい電池と古い電池や種類の違う電池を同時に使用しないでください。
長期間使用しないときは、電池を取り外してください。
液漏れが発生したら、電池ボックスや端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ・ ケースを開け分解、改造を加えないでください。
- ・ 落としたり、衝撃や無理な力を加えたりしないでください。
- ・ 液体をかけたり入れたりしないでください。
- ・ 異物がケース内に入らないようにしてください。
- ・ 大音量で使用しないでください。聴力損失の原因となりうる大音量が発生する可能性があります。
- ・ 本体を輸送する場合は、購入時の個装箱と緩衝材をご使用ください。
- ・ 本体の電源が入っている間は、布やビニールなどで包まないでください。
- ・ 電源コードが踏まれたり、圧力がかかったりしないようにしてください。
- ・ 下記の環境ではご使用にならないでください。故障の原因になります。
直射日光のあたる場所、40℃を超える環境、コンロなどの熱源の近く
温度が極端に低いところや高いところ
湿度が極端に高いところ、水のかかるところ
振動の多いところ、砂やほこりの多いところ
- ・ 故障や異常が発生した場合は、すぐに電源を切りご使用をおやめください。

<使用上の注意>

この注意事項を守らないと使用者が怪我や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ・ ケーブルを接続するときや本体の電源を操作するときは、接続している各機器の入力レベルを最小にするか電源を OFF にしてください。
- ・ お手入れ
画面やケースが汚れたときは、柔らかいクロスで力を入れず乾拭きしてください。
薬品（アルコール、ベンジン、シンナー、クレンザーなど含む）を使用しないでください。
汚れが落ちない場合は、水で布を少しだけ湿らせよくしぼってから、拭いてください。
製品が完全に乾くまで電源を入れないでください。

はじめに

このたびは、SONICWARE Lofi-12 XT をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

Lofi-12 XT は、どんな音でも心地よいローファイ/ローレゾサウンドに仕立てることができる 8トラックのコンパクト・グローブボックスです。

末永くご愛用ください。

Lofi-12XT の主な特長

- ・ 12/24kHz の初期デジタルサンプリング
12BIT サンプラー・モード搭載
- ・ 直感的なノンストップ・トラックメイキング
強力な 8トラックシーケンサー装備
- ・ パワフルなシグナルプロセッシング
8 × インサートエフェクト、ディレイ、リバーブ、マスターエフェクト
- ・ 楽々バックグラウンド Mix テープレコーディング
- ・ 他のデバイスとの多彩な接続性
- ・ 2,500 を超える豊富なサンプルライブラリー搭載

あらゆる場所でサンプリング&ライブパフォーマンス

電池駆動&スピーカー、マイクロフォン内蔵なので、いつでもどこでもサンプリング、音楽制作やライブパフォーマンスが行えます。

さらに、スマートフォンや PC/Mac と接続をして、オーディオインターフェイス機能を使うことで、制作した楽曲をすぐにライブ配信できます。

あらゆる場所がアイデア次第で音素材にもステージにもなるでしょう。

あらゆるデバイスとの同期

MIDI 端子 / SYNC 端子に加えて USB 端子と、外部のシンセサイザーやドラムマシン、PCなどを接続し、複数のデバイスを同期させて一緒に使うことが可能です。Liven シリーズや ELZ_1 play はもちろん、Teenage Engineering 社の PO シリーズとも同期が可能です。

また、入力した SYNC クロック信号から MIDI クロックを生成するなど、種類の異なる端子間でもクロック同期信号をブリッジすることでライブパフォーマンスの中心で活躍することができます。

MIDI CC 機能を使えば、あらゆるパラメーターを外部 MIDI コントローラーや、DAW 上のオートメーションから操作することが可能です。

目次

Lofi-12XT の主な特長	4	D-pad を使ったロール演奏.....	32
各部の名称	8	PAD モードでの演奏	33
接続例	10	スケールを変更する	35
起動と終了	11	サンプルのセットアップ	38
電源の準備.....	11	Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイル	38
起動.....	11	サンプルスロット	38
終了.....	11	Lofi-12 XT のフォルダ構成	39
基本操作	12	サンプルのセットアップ - サンプリング -	40
全体の音量を調整する.....	12	サンプリング	40
スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する	12	録音ソースの設定	41
十字キーと OK/CLR ボタンについて	12	サンプリングしたファイルの名前	43
コントロールノブ / VALUE ノブ	13	サンプルのセットアップ - コンバートオーディオ -	44
ファンクションボタン.....	13	オーディオファイルのコンバート.....	44
15 パッド	14	対応 WAV フォーマット	44
パラメーターパッド	14	オーディオファイルをコンバートする	45
トラックパッド.....	14	サンプルのセットアップ - インポート -	47
Lofi-12XT のプロジェクト構造	15	Lofi-12 XT で使用可能なファイルをインポートする	47
プロジェクトとは	16	サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -	48
トラックとは	16	サンプルをサンプルスロットにロードする方法	48
パターンとは	16	サンプルを選んでサンプルスロットにロードする	49
ソングとは	16	TAG SEARCH の基本操作	49
パターンの再生と基本機能	17	サンプルに TAG を付ける	52
基本的な画面表示.....	17	SAMPLE POOL からサンプルを選んでサンプル	
パターンの選択.....	18	スロットにロードする.....	53
パターンの再生	18	SAMPLE POOL の基本操作	54
パターン 17 以降の選択.....	18	ファイルをサンプルスロットにロードする	56
パターンをリロードする	19	ファイルを削除する	56
パターンごとに音量を調節する	19	任意のサンプルスロットにサンプルをロードする	57
別のプロジェクトのパターンを再生する.....	20	オーディオファイルのデータベースを更新する	59
テンポの変更.....	21	各パラメーターパッドの機能	
テンポを変更する	22	CONFIG ページ	60
スウィングを設定する	22	シーケンサーの設定.....	60
メトロノームを設定する	22	シーケンスを拡張コピーする	61
プリカウントを設定する	22	シーケンスエフェクトを設定する.....	62
MIXER	23	SOUND ページ	63
ミキサーを編集する	23	サンプルを編集する	63
外部入力機能.....	26	トラックのボイスモードを設定する	65
トラックの操作	28	グライドの設定 (MONO のとき)	67
トラックを選択してサンプルを変更する	28	アルペジエーターの設定 (POLY のとき)	67
トラックをミュートする	29	スライスモード	68
ミュートを予約する	30	サンプルをスライスする (MANUAL スライス)	69
グローバルミュートする	31	サンプルをスライスする (AUTO スライス)	71

目次

スライスのパラメーターを調整する	72	コピー機能	104
スライスを保存する	73	トラックの設定を別のトラックにコピーする	104
FILTER ページ	74	トラックを別のトラックにコピーする	104
フィルターを編集する	74	ステップをコピーする	104
フィルターのエンベロープを編集する	75	パターンの保存と管理	105
MODULATION ページ	76	パターンを保存する	105
LFO1 と 2 の切替、編集をする	76	パターンをクリア (初期化) する	106
モジュレーション可能なパラメーター	79	パターンをリネームする	107
AMP ページ	80	パターン内のトラックを編集する	108
エンベロープ、パン、ボリュームを編集する	80	トラックをスワップ (入れ替え) する	109
センドエフェクトへのセンド量を調整する	82	トラックをコピーする	110
EFFECT ページ	83	トラックを移動する	111
EFX を設定する	83	トラックをクリア (初期化) する	112
REVERB/DELAY ページ	85	ソングの作成	113
Delay と Reverb を編集する	85	ソングを再生する	113
パターンの作成		ソングを編集する	114
ステップシーケンサーの概要	88	SONG EDIT の基本操作	115
概要	88	ソングをリネームする	118
Lofi-12 XT のステップシーケンサーの特長	88	ソングをクリアする	119
シーケンスの作成 - ステップレコーディング	90	ソングをコピーする	120
基本操作	90	プロジェクトの管理	121
ステップ 17 以降の選択	91	新規プロジェクトを作成する	121
タイ付きノート (長音) を入力する	92	プロジェクトを保存する	122
シーケンスの作成 - リアルタイムレコーディング	93	別のプロジェクトとして保存する	123
基本操作	93	プロジェクトをリネームする	124
シーケンスの作成 - ダイレクトレコーディング	94	プロジェクトを削除する	125
基本操作	94	MIX TAPE 機能	126
シーケンスの作成 - ノートのクリア	95	ミックステープのタイプを変更する	127
ノートをクリアする	95	外部機器とのクロック同期	128
タイノートをクリアする	95	外部機器との接続	128
パラメーターロック	96	MIDI	131
パラメーターロック - ダイレクト入カ	97	トラックの MIDI チャンネルを設定する	131
ダイレクト入力をする	97	本体の MIDI チャンネル設定	132
パラメーターロックのクリア	98	その他の MIDI 設定を変更する	134
任意のパラメーターロック情報の一括クリア	98	パッド感度を変更する	137
パラメーターロック - リアルタイム入カ	99	内臓スピーカーをミュートする	138
リアルタイム入力をする (パラメーター REC)	99	カード機能	139
シーケンスの編集	100	カードリーダーモード	139
ステップデータを編集する	100	カードをフォーマットする	140
MICRO TIMING	101	カードのパフォーマンステスト	141
ステップのクリア	103	電源の設定を変更する	142
トラック情報をクリアする	103	バッテリータイプを変更する	142

目次

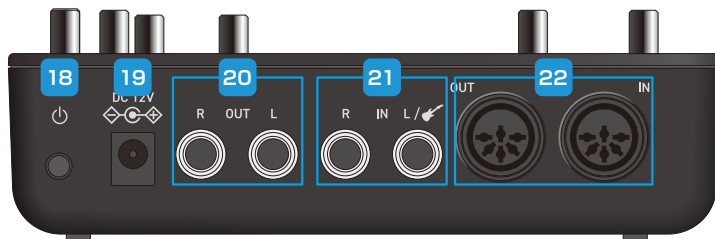
AUTO POWER OFF を設定する……………	143
Lofi-12 XT を工場出荷時の状態に初期化する	144
システム情報……………	145
システムバージョン情報を確認する ……	145
Lofi-12 XT のファームウェアをアップデートする	146
付録……………	147
サウンドアーキテクチャ ……	147
ハードウェア仕様 ……	148

各部の名称

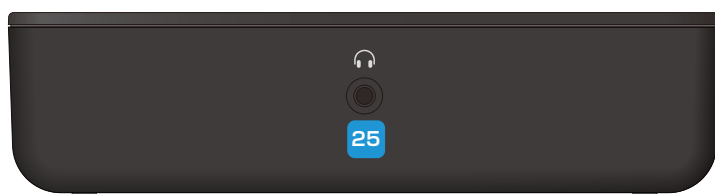
本体右



背面



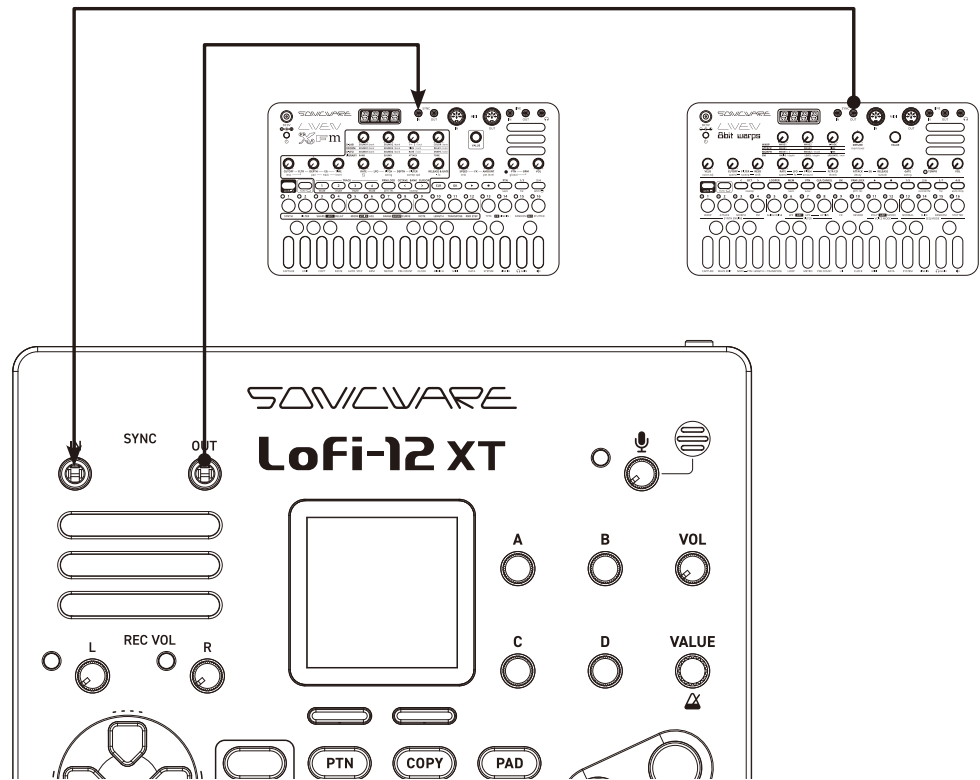
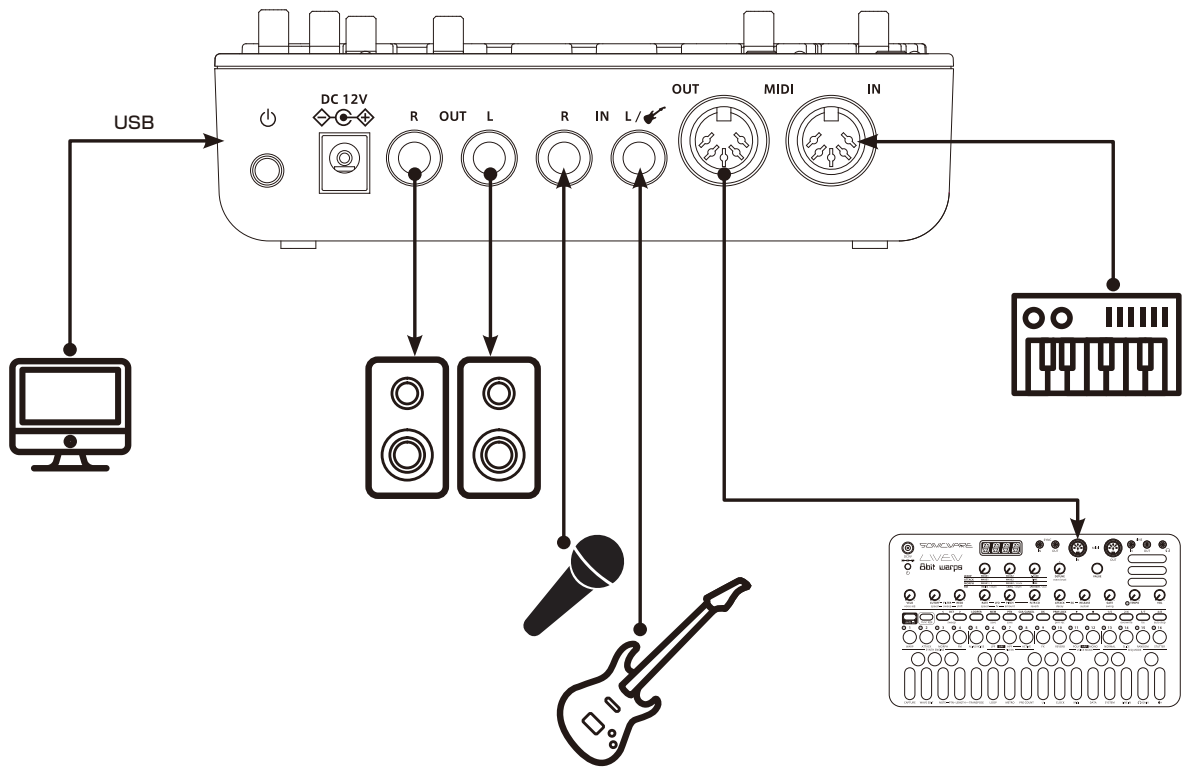
手前



各部の名称

1: SYNC イン/アウト SYNC 信号の入力と出力	2: マイク 内蔵マイクと入力調節用ゲインノブ	3: スピーカー 内蔵スピーカー出力	4: インプットゲインノブ INPUT L/R の入力ゲインを調節
5: ディスプレイ	6: コントロールノブ 画面上の A ~ D 項目を調節	7: VOL ノブ ヘッドホンとスピーカーのレベル調節	8: VALUE ノブ マスターレベルの調整 押し込みで TEMPO MENU を表示
9: オグジュアリーボタン 画面下部に表示される項目を選択	10: D-pad 8分~64分音符のロール演奏や MENU 内カーソルの移動と選択に使用		
11: ファンクションボタン 他のボタンと同時に押すことで、サブメニューを表示	PTN PATTERN SELECT メニューを表示	COPY トラックやパラメーター、ステップをコピー & ペーストする	PAD PAD モードに切り替える
	save PATTERN SAVE メニューを表示	song SONG SELECT メニューを表示	project PROJECT MENU を表示
REC パターンのレコーディングを開始	Play パターンまたはソングを再生	MIX MIXER ページを表示	MUTE トラックをミュートする
sampling SAMPLING ページを表示	system SYSTEM MENU を表示	ext src USB & EXT IN ページを表示	mix tape MIX TAPE ページを表示
12: OK ボタン メニューの決定などに使用	13: CLR ボタン ステップの取り消しやメニュー画面からの退場を使用	14: ステップキー トラックパッドと同時押しでダイレクトレコーディング可能 ファンクションボタンと同時押しでデータ編集可能	
15: ページスイッチ ページの選択や切替に使用 PAD モードではスケールシフト変更に使用	16: パラメーターパッド パラメーターページの表示や、PAD モードの演奏などで使用	17: トラックパッド トラックの選択や、PAD モードの演奏などで使用	18: 電源ボタン 長押しして本体の電源をオン/オフする
19: DC12V 付属の電源アダプターを接続	20: アウトプット L/R ステレオラインレベルオーディオ出力	21: インプット L/R INPUT L は Hi-Z イン、INPUT R はダイナミックマイクインとしても使用可能	22: MIDI イン/アウト MIDI 信号の入力と出力
23: USB 端子 PC と接続し、データ管理や USB MIDI 機能、オーディオインターフェースとして使用	24: 記録カード Lofi-12 XT データ保存用カード (SDHC 32GB まで対応)	25: ヘッドホンアウト ヘッドホン用オーディオ出力	

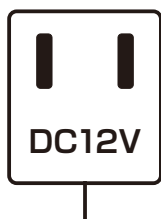
接続例



起動と終了

電源の準備

AC アダプターは付属です



or

単三アルカリ乾電池 x 6



AC アダプターは必ず付属のものを使用してください。指定以外のACアダプターを使用した場合、故障の原因となります。

電池残量が少なくなると電池アイコンが下のようになります。速やかに電池を交換してください。



ニッケル水素充電電池、リチウム電池を使う場合はバッテリーの設定を変更してください。(→ P.142)

起動

- 1 ディスプレイに Lofi-12 XT と表示されるまで POWER スイッチを長押し。



終了

- 1 ディスプレイが消灯するまで POWER スイッチを長押し。

基本操作

全体の音量を調整する

スピーカー、ヘッドホン、LINE OUT の音量を調整します。



Master Level	
0~127	100が0dBで -∞~ +3dB の範囲で変更できます

スピーカー、ヘッドホンの音量を調整する



内蔵スピーカーとヘッドホンの音量を調整します。





Speaker/Headphones Volume	
0~127	真ん中が0dBで -∞~ +6dB の範囲で変更できます

ヘッドホンを接続せずに内蔵スピーカーを常にミュートしたいときは、「内蔵スピーカーをミュートする」を参照。(→ P.138)

十字キーと OK/CLR ボタンについて

本マニュアルでは、煩雑にならないよう、十字キー (D-pad)  /  ボタンで操作できる項目全てを説明していません。

多くの画面では、ノブの他に十字キー (D-Pad) と  /  ボタンで操作できるようになっています。

基本操作

コントロールノブ / VALUE ノブ

画面に表示中のパラメーターを変更 / 調節する際に使用します。
ノブにはスイッチも搭載されています。主に 2 通りの使い方があります。



回す

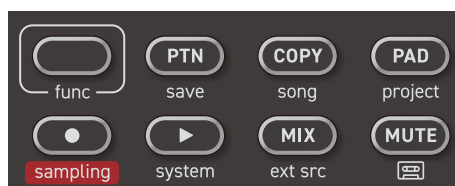


押す

コントロールノブ下向き矢印アイコンで示されたパラメーターの場合、**押し込む**ことでパラメーターのオンオフや機能の変更等を行うことができます。

ファンクションボタン

Lofi-12 XT のボタンには 2 つの機能が割り当てられているものがあります。



上の例だと、**PTN** には save、**COPY** には song というサブメニューが割り当てられています。

func を押しながら、これらのボタンを押すことでサブメニューを呼び出すことができます。

本マニュアルでは **func** を押しながらの操作は次のように記載します。



また、ファンクションボタンは他のノブと併用することで数値を飛ばして入力することができます。

数字の大きいパラメーターなどはファンクションボタンを押しながら操作することで素早く設定することができます。

基本操作

15 パッド



パラメーターパッド

7つのパラメーターパッドを押すことで、パラメーターエディット用のページを表示します。

各ページにはオグジュアリーボタンを押すことで表示できるサブページがあります。

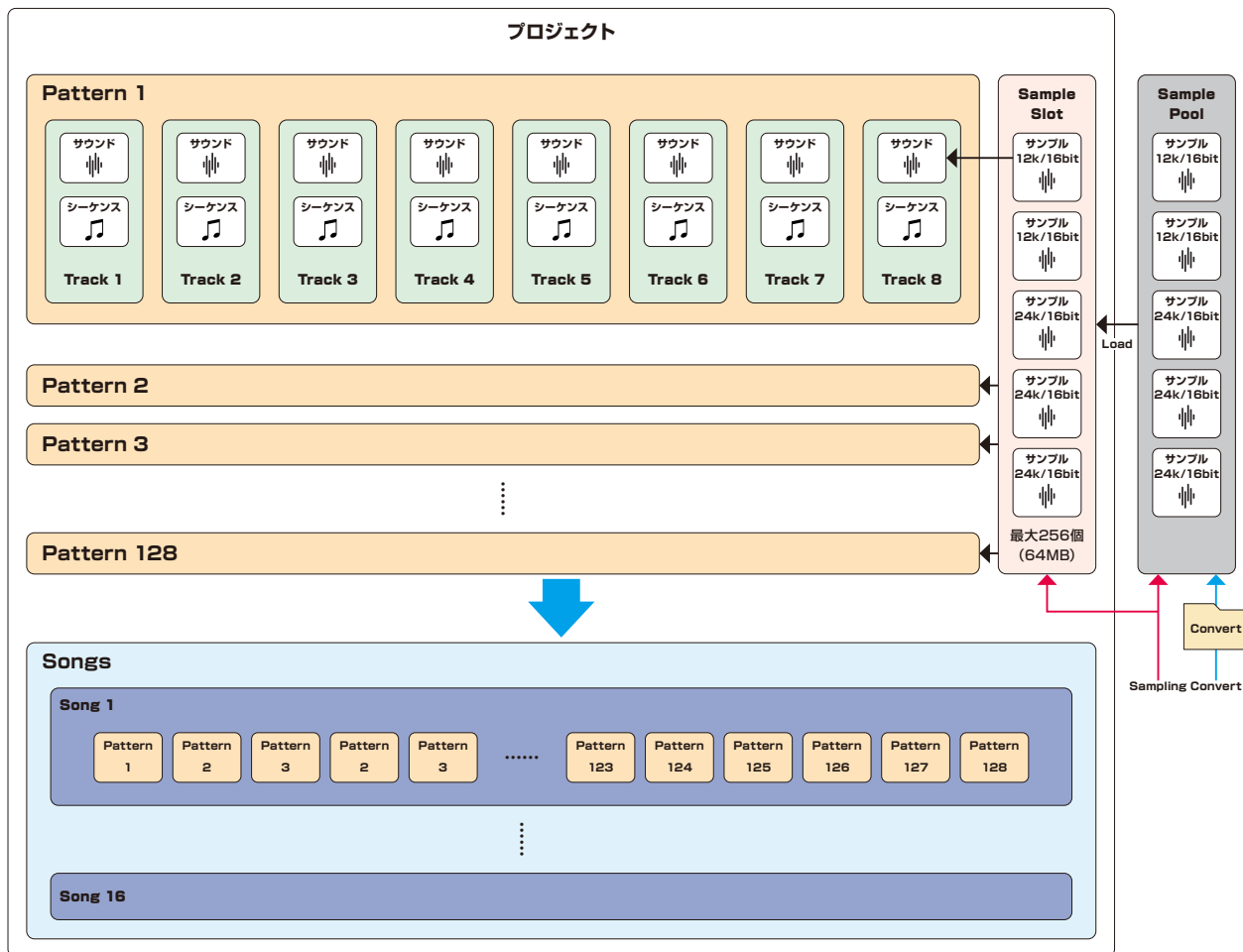
○ オグジュアリーボタン左のサブページは、そのパラメーターパッドをもう一度押すことでも表示することができます。

トラックパッド

8つのトラックパッドを押すことで、トラックの選択とトラックにアサインされているサンプルをトリガーします。

各トラックは、パラメーターパッドでページを切り替えながらエディットします。

Lofi-12XT のプロジェクト構造



Lofi-12XT のプロジェクト構造

プロジェクトとは

プロジェクトとは、後述するパターンとソング、サンプルスロットを1つにまとめたものです。Lofi-12 XT で使用する全てのデータはこのプロジェクトに保存されています。

プロジェクトごとにカード内の Pool から、プロジェクトで使用するサンプルデータを最大 256 個 (64MB 上限) 登録可能です。

Lofi-12 XT は、最大で 256 個のプロジェクトを保存できます。

トラックとは

Lofi-12 XT は、8トラックのシーケンサーを搭載したグループボックスです。

トラックとは、サウンドの設定とシーケンス (演奏情報) を1つにまとめたものです。

Lofi-12 XT は、このトラックを 8 つ持っていて、各トラックごとに別々のサウンドでシーケンスを作成することができます。

パターンとは

パターンとは、8 つのトラックを1つにまとめたものです。1つのパターンの長さは 1 ~ 128 小節ほどで、楽曲を構成する最小単位になります。

Lofi-12 XT は 1 つのプロジェクトにつき、合計 128 パターンを保存できます。

ソングとは

ソングとは、パターンの再生順、繰り返し回数や小節数を設定して 1 つの楽曲として再生するものです。

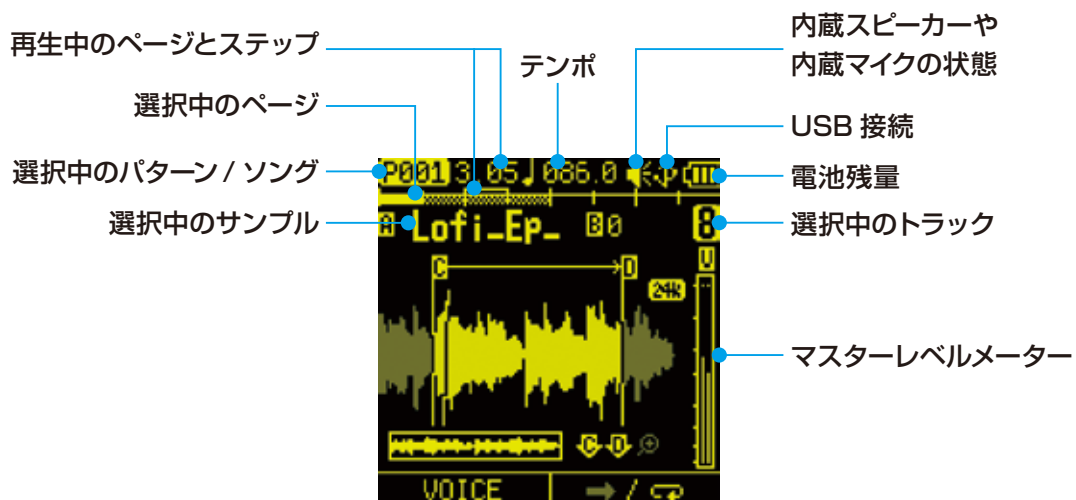
1 つのプロジェクトにつき 16 個のソングを保存できます。

1 つのソングに最大 99 個のパターンを登録できます。

パターンの再生と基本機能

基本的な画面表示

Lofi-12 XT は、選択した機能によって画面表示が変わりますが、以下の基本的な表示は共通しています。



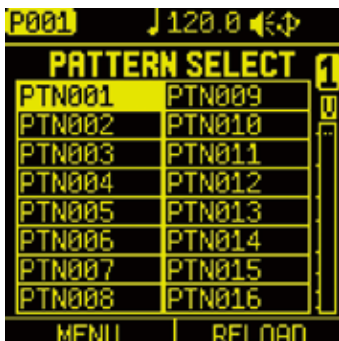
パターンの再生と基本機能

パターンの選択

1 **PTN** を押して、PATTERN
SELECT メニューを表示する。

2 ●ステップキーを押す。
パターンが選択されます。
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)

3 **OK** ボタンを押して、
パターンを確定する。



パターンの再生

4 **▶** を押す。
再度押すと停止します。

パターン 17 以降の選択

手順1の後にページスイッチ、もしくは□トラックパッドを押すことでページを移動してパターン 17 以降を選択できます。



- ・パターン再生中に別のパターンを選択した場合、すぐに切り替わらず予約されます。
再生中のパターン終了後に選択したパターンに切り替わります。
(**func** + **▶** で選択すると、すぐにパターンを切り替えることもできます。)
- ・**OK** + **▶** を押すことで、ソングを再生できます。(→ P.113)


パターンの再生と基本機能

パターンをリロードする

- 1 **PTN** を押す。
- 2  オグジュアリーボタン右 **RELOAD** を押す。
- 3 以下の MENU からリロードしたいパラメーターを選択して **OK** ボタンを押す。

RELOAD	
SEQUENCE	シーケンサーに保存されているステップ情報をリロードします。
PARAMETER	トラック設定をリロードします。
ALL	パターン内全ての設定をリロードします。
SEND EFX	SEND FX 設定をリロードします。

パターンごとに音量を調節する

- 1 **func** を押しながら  VALUE を回す。



PATTERN LEVEL	
0~127	100 が 0dB で -∞ ~ +3dB の範囲で変更できます。

パターンの再生と基本機能

別のプロジェクトのパターンを再生する

- 1 **func** + **PAD** project を押して、PROJECT MENU を表示。
- 2 PROJECT MENU で SELECT/NEW を選択。



- 3 いずれかのプロジェクトを選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択して、**OK** ボタンを押す。



新しいプロジェクトが開いたら、P17 の手順に沿ってパターンを再生します。

パターンの再生と基本機能

テンポの変更


- 1 ①VALUE を押し込んで、TEMPO MENU を表示。
設定したいノブを回します。





TEMPO MENU		
①A ノブ	BPM	40 ~ 250: パターンのテンポを設定します。
②A ノブ押込	TAP	TAP テンポの入力をします。
③B ノブ	SWING	0% ~ 75%: スウィング量の設定をします。
④C ノブ	M-VOL	0 ~ 16: メトロノームの音量を設定します。
⑤C ノブ押込	OFF/ON	メトロノームのオンオフを設定します。
⑥D ノブ	P-COUNT	1 ~ 16: プリカウント数を設定します。
⑦D ノブ押込	OFF/ON	プリカウントのオンオフを設定します。
○ オグジュアリーボタン左	GLBL、PTN	PTN: パターンチェンジした際、パターンに保存されているテンポ情報を使って BPM が変更されます。 GLBL: パターンチェンジした際も引き続き現在のグローバル BPM 値に従って動作します。 グローバル BPM はプロジェクトに保存されます。

パターンの再生と基本機能



- ・一定のテンポでジャムセッションを進行したい場合はグローバル BPM モードを、パターンごとにテンポを変えたい場合はパターン BPM モードを選択してください。
 - ・ オグジュアリーボタン右 **RELOAD** を押すことで、パターンの TEMPO 設定をリロードすることができます。
-



テンポを変更する

- 1 TEMPO MENU で  A ノブを回して、テンポを変更する。
 を押しながら回すと、0.1 単位で変更できます。



スウィングを設定する

- 1 TEMPO MENU で  B ノブを回して、SWING 量を調整する。

メトロノームを設定する



- 1 TEMPO MENU で  C ノブを押し込んで、メトロノームをオンにする。
- 2  C ノブを回して、メトロノームの音量を調整する。

プリカウントを設定する

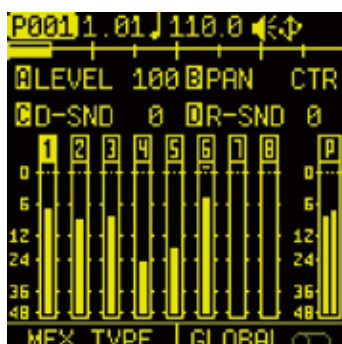
- 1 TEMPO MENU で  D ノブを押し込んで、プリカウントをオンにする。
- 2  D ノブを回して、プリカウント数を設定する。







パターンの再生と基本機能

MIXER

- 1  を押して、MIXER を表示。
- 2  トラックパッドを押して、編集したいトラックを選択する。

ミキサーを編集する



MIXER		
 A ノブ	LEVEL	0 ~ 127: トラックの音量レベル
 B ノブ	PAN	L63 ~ L1、CTR、R1 ~ R63: トラックのパン
 C ノブ	DELAY SEND	0 ~ 127: Delay エフェクトへのセンド量
 D ノブ	REVERB SEND	0 ~ 127: Reverb エフェクトへのセンド量
 オグジュア リーボタン左	MFX TYPE	マスター FX ページを表示
 オグジュア リーボタン右	GLOBAL OFF/ON	OFF: パターンに保存されている設定を使用します。 ON: 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。

パターンの再生と基本機能

Lofi-12 XT は、ミキサー後にマスターエフェクトを備えています。



MASTER FX		
Ⓐ ノブ	TYPE	エフェクトタイプの変更 FILTER: フィルター COMP: コンプレッサー
Ⓑ ノブ	ON/OFF	マスター FX のオンオフ
○ オグジュア リーボタン右	GLOBAL OFF/ON	OFF: パターンに保存されている設定を使用します。 ON: 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。
FILTER 1/2		
Ⓒ ノブ	FREQ	0 ~ 127: フィルターのカットオフフリークエ ンシー
Ⓓ ノブ	RESONANCE	0 ~ 127: フィルターのレゾナンス
FILTER 2/2		
Ⓐ ノブ	TYPE	LPF、HPF、BPF: フィルターのタイプ選択

パターンの再生と基本機能

COMP 1/2		
Ⓒ ノブ	RATIO	0 ~ 127: コンプレッサーのレシオ値
Ⓓ ノブ	THRESHOLD	0 ~ 127: コンプレッサーのスレッシュホールド値
COMP 2/2		
Ⓐ ノブ	ATTACK	0 ~ 127: コンプレッサーのアタックタイム
Ⓑ ノブ	RELEASE	0 ~ 127: コンプレッサーのリリースタイム
Ⓒ ノブ	SIDE CHAIN SOURCE	NONE、TRACK1 ~ 8: サイドチェインソースにするトラックの選択 NONE の場合、通常のコンプレッサーとして機能します。
Ⓓ ノブ Ⓓ ノブ押込	TARGET	1 ~ 8、S: コンプレッサーを適用するトラックの選択 ノブを押込むことで ON、OFF の切り替え S を選択することでセンドエフェクトにもコンプレッサーを適用することができます。

パターンの再生と基本機能

外部入力機能

Lofi-12 XT は外部入力音声をサンプリングに使用するだけでなく、トラックとして使用することができます。

USB とアナログインプットを個別に Reverb/Delay エフェクトへセンドすることもできます。



USB&EXT IN		
Ⓐ ノブ	ENABLE	OFF、ON: 入力モニターのオンオフ
Ⓑ ノブ	LEVEL	0 ~ 127: 外部入力音声のレベル
Ⓒ ノブ	D-SND	0 ~ 127: Delay エフェクトへのセンド量
Ⓓ ノブ	R-SND	0 ~ 127: Reverb エフェクトへのセンド量
○ オグジュアリーボタン右	EXT IN/USB	EXT IN: EXT IN オーディオの設定ページを表示 USB: USB オーディオの設定ページを表示

パターンの再生と基本機能



- ・サンプリングの録音ソースと EXT IN & USB 両方で USB を使用している設定の場合、EXT IN の設定が優先され、録音ソース設定は無視されます。
 - ・アナログ入力を使用する場合は本体の REC VOL ノブで入力を調整してください。
REC VOL を左に回し切っている場合は音声が入力されません。
-

トラックの操作

Lofi-12 XT は、8 つのトラックを選択し、6 つのトラックパラメーターと1 つのセンドFX パラメーターを使ってオペレーションを行います。

□トラックパッドを押すことで対象のトラックを選択すると同時に、選択されているサンプルを再生します。

トラックを選択してサンプルを変更する

- 1 □トラックパッドを押してトラックを選択。
サンプルが再生されます。



- 2 SOUND ページでⓂA ノブを回して、サンプルを選択する。

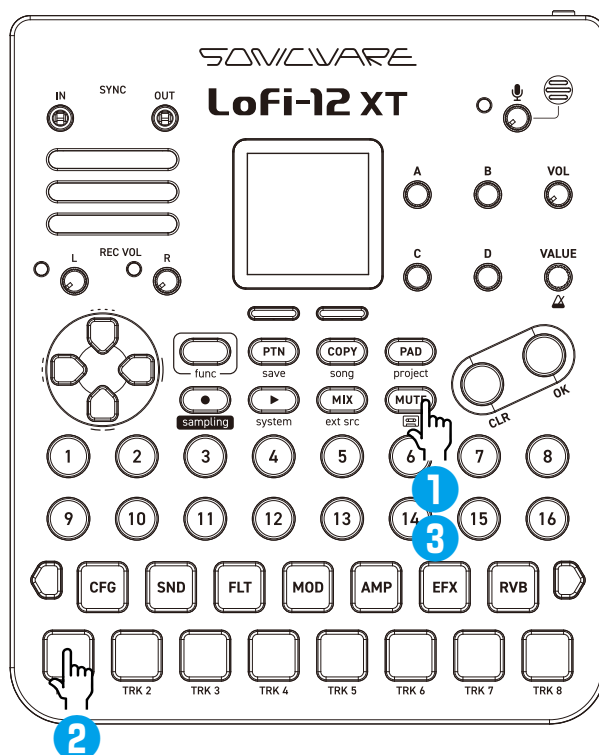


- **func** ボタンを押しながら□トラックパッドを押すことで、サンプルを鳴らさずにトラックを選択することができます。
 - 現在選択されているトラックの□トラックパッドは白点灯します。
サンプルがアサインされているトラックの□トラックパッドは緑点灯します。
-

トラックの操作

トラックをミュートする

- 1 **MUTE** を押して、MUTE モードに入る。
- 2 ミュートしたい□トラックパッドを押して選択。
ミュートした□トラックパッドが黄色に点灯します。
黄色に点灯した□トラックパッドを押すとミュートが解除されます。
- 3 点灯している **MUTE** を押して、MUTE モードを抜ける。

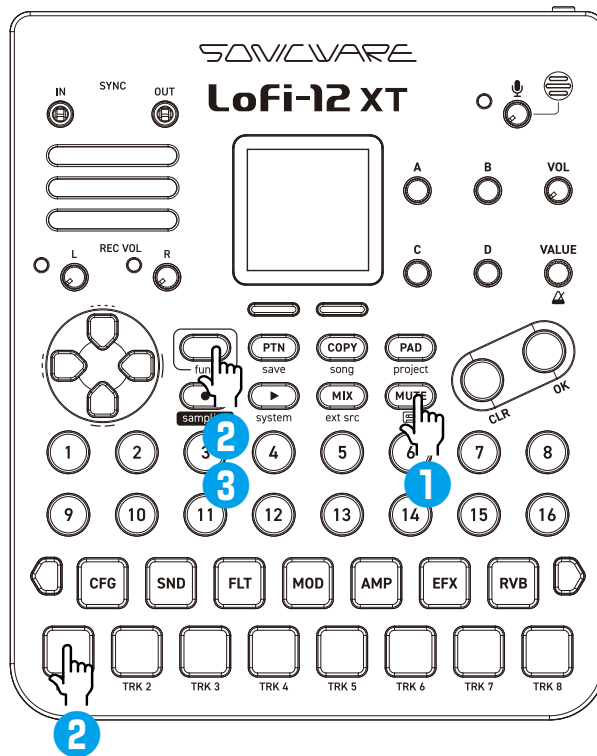


- **MUTE** を押しながら□トラックパッドを押すことで、選択したトラックを直接ミュート / ミュート解除することもできます。

トラックの操作

ミュートを予約する

- 1 **MUTE** を押して、MUTE モードに入る。
- 2 **func** を押しながらミュートしたい□トラックパッドを押して、ミュートの予約をする。
- 3 **func** を離して、選択したトラックをミュートする。



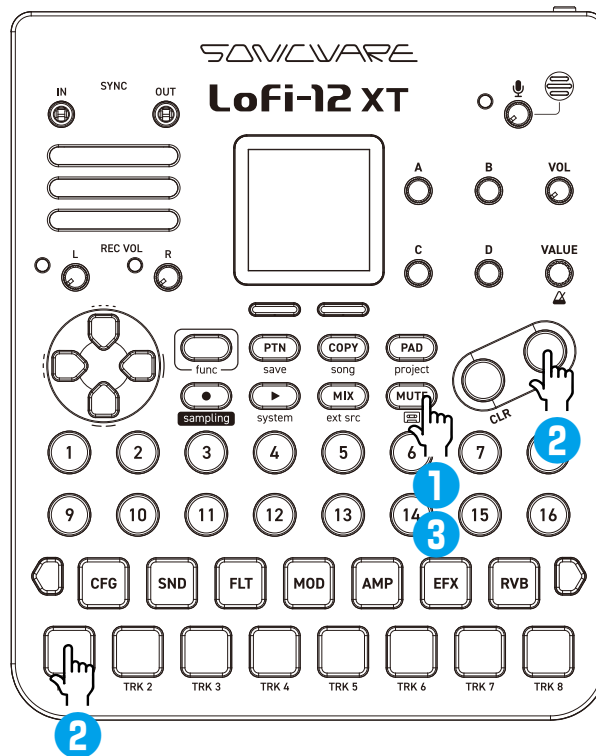
トラックの操作

グローバルミュートする

- 1 **MUTE** を押して、MUTE モードに入る。
- 2 **OK** を押しながらミュートしたい トラックパッドを押してミュートする。
ミュートした トラックパッドが明るい黄色に点灯します。

グローバルミュートをしたトラックは、パターン切替後もミュートされたままになります。

- 3 点灯している **MUTE** を押して、MUTE モードを抜ける。



トラックの操作

D-pad を使ったロール演奏

D-Pad の上下左右を押したまま、□トラックパッドを押すことでロール演奏をすることができます。

このロール演奏はシーケンサーにも記録できます。

D-PAD	
右	8 分音符
下+右	4 分 3 連音符
下	16 分音符
下+左	8 分 3 連音符
左	32 分音符
上+左	16 分 3 連音符
上	64 分音符
上+右	なし



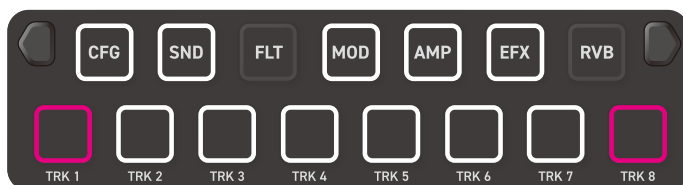
- ・ROLL 演奏中、□トラックパッドの押し加減を変えることで音量の強弱をつけられます。
-

トラックの操作

PAD モードでの演奏



- 1 **PAD** を押して PAD モードに入る。
SOUND ページで **PAD** を押すと PAD ページが表示されます。



PAD モード中はサンプルを 15 パッドでスケール演奏することができます。
スケールのルート音がオクターブ毎に、ピンクで点灯します。



- ・ボイスモードが SLICE に設定されている場合は、15 パッドでスライスを演奏できます。(→ P.68)
- ・PAD モード中は
 - func** + □ パラメーターパッドを押してパラメーターエディットページの切り替え、
 - func** + □ トラックパッドを押してトラックの切り替え、
 - func** + ○○ ページスイッチを押してページの切り替えをします。

トラックの操作

PAD モード		
🔊 A ノブ	SCALE	<input type="checkbox"/> 15 パッドに表示するスケールの選択
🔊 B ノブ	Key	C,Db,D,Eb,E,F,Gb,G,Ab,A,Bb,B: 表示するルート音の選択
🔊 C ノブ	SWEEP RANGE	-11 ~ 11、± 10CT、± 20CT: スイープの量 マイナス方向でスイープダウン、プラス方向でスイープアップするようになります。
🔊 D ノブ	SWEEP SPEED	0 ~ 127: スイープの速度 値が小さいほど速度が速くなります。
<input type="checkbox"/> オグジュア リーボタン右	SWEEP CURVE	LINEAR: 入力したノートからレンジ分直線的に変化します。 EXP: 入力したノートからレンジ分最初ゆっくり変化し、後半は急に変化します。 LOG: 入力したノートからレンジ分最初急に変化し、徐々にゆっくり変化します。

トラックの操作

スケールを変更する

- 1 PAD ページで  A ノブを回す。
選択できるスケールは以下の通りです。

SCALE		
CHROMATIC	クロマチックスケール	C,Db,D,Eb,E,F,Gb,G,A,Ab,B
MAJOR	メジャースケール	C,D,E,F,G,A,B,
MINOR	マイナースケール	C,D,Eb,F,G,Ab,Bb
HARM .MINOR	ハーモニックマイナー スケール	C,D,Eb,F,G,Ab,B
MELO .MINOR	メロディックマイナー スケール	C,D,Eb,F,G,A,B
DORIAN	ドリアンスケール	C,D,Eb,F,G,A,Bb
PHRYGIAN	フリジアンスケール	C,Db,Eb,F,G,Ab,Bb
LYDIAN	リディアンスケール	C,D,E,F,Gb,A,B
MIXOLYDIAN	ミクソリディアンスケール	C,D,E,F,G,A,Bb
LOCRIAN	ロクリアンスケール	C,Db,Eb,F,Gb,Ab,Bb
SUP .LOCRIAN	スーパーロクリアン スケール	C,Db,Eb,E,Gb,Ab,Bb
MAJOR BLUES	メジャーブルース スケール	C,D,Eb,E,G,A
MINOR BLUES	マイナーブルース スケール	C,Eb,F,Gb,G,Bb
DIMINISHED	ディミニッシュスケール	C,D,Eb,E,Gb,Ab,A
COM DIM	コンビネーションディ ミニッシュスケール	C,Db,Eb,E,Gb,G,A,Bb

トラックの操作

SCALE		
MAJ .PENTA	メジャーペンタトニックスケール	C,D,E,G,A
MIN .PENTA	マイナーペンタトニックスケール	C,Eb,F,G,Bb
RAGA1	RAGA1	C,Db,E,F,G,Ab,B
RAGA2	RAGA2	C,Db,E,Gb,G,A,B
RAGA3	RAGA3	C,Db,Eb,Gb,G,Ab,B
ARABIC	アラビックスケール	C,D,E,F,Gb,Ab,Bb
SPANISH	スパニッシュスケール	C,Db,Eb,E,F,G,Ab,Bb
GYPSY	ジプシースケール	C,Db,E,F,G,Ab,B
MINOR GYPSY	マイナージプシースケール	C,D,Eb,Gb,G,Ab,B
EGYPTIAN	エジプシャンスケール	C,D,E,G,Bb
HAWAIIAN	ハワイアンスケール	C,D,Eb,F,G,A,B
PELOG	ペログスケール	C,Db,Eb,G,Ab
HIRAJOSHI	平調子	C,D,Eb,G,Ab
IN-SEN	陰旋法	C,Db,F,G,Bb
IWATO	岩戸音階	C,Db,F,Gb,Bb
KUMOI	雲井音階	C,D,Eb,G,A
MIYAKO BUSHI	都節音階	C,Db,F,G,Ab
RYUKYU	琉球音階	C,E,F,G,B
CHINESE	チャイニーズスケール	C,E,Gb,G,B

トラックの操作

SCALE		
WHOLE TONE	ホールトーンスケール	C,D,E,Gb,Ab,Bb
WHOLE HALF	ホールハーフスケール	C,D,Eb,F,Gb,A,Ab,B
5TH INT.	5度音階	C,G



- ・クロマチックスケール以外のスケールでは、□ 15 パッドがスケールの音階のみで順番に配置されます。
-

サンプルのセットアップ

Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイル

Lofi-12 XT は、12kHz または 24kHz/16bit のモノラル WAV ファイルのみに対応したローファイサンプラーです。

収録されているプリセットも全て上記ファイルフォーマットで収録されています。

Lofi-12 XT で使用できるサンプルファイルを作成するには 3 つの方法があります。

1. Lofi-12 XT でサンプリングする。
2. Lofi-12 サウンドが簡単に作れる当社独自の Lofi コンバートエンジンでオーディオファイルをコンバートする。
3. 自分で 12kHz または 24kHz/16bit のモノラル WAV ファイルを作成し、Pool フォルダにインポートする。

サンプルスロット

1 つのプロジェクトは 256 個のサンプルスロットを持っています。

サンプルをスロットにロードすることで、トラックで使用することができます。

サンプルのセットアップ

Lofi-12 XT のフォルダ構成

Lofi-12 XT で使用するカード内は、次のようなフォルダ構成になっています。



サンプルのセットアップ - サンプリング -

サンプリング

- 1 **func** + **Sampling** を押して SAMPLING ページを表示。
- 2 **A** ~ **D** ノブを回して、サンプリング設定を変更。



SAMPLING	
A ノブ	録音ソースの切り替え
B ノブ	モニター音量の調整
B ノブ 押込	モニターの ON/OFF
C ノブ	録音ソースに関する設定
D ノブ	ノーマライズの ON / OFF
VALUE 押込	AUTO REC の ON / OFF
VALUE	AUTO REC を開始する入力信号のレベルの調整
オグジュア リーボタン左	サンプリング周波数の選択 12kHz / 24kHz 表示されているサンプリング周波数で録音されます。
オグジュア リーボタン右	サンプリング完了後に名前を付ける場合は ON に します。



- ・ AUTO REC をオンにすることで、設定したレベルを超えた入力信号に対して自動でサンプリングを開始することができます。

サンプルのセットアップ - サンプリング -

録音ソースの設定

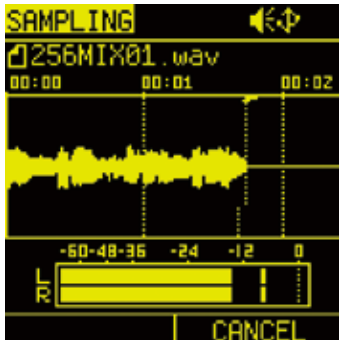
REC SRC			
	内蔵マイク	内蔵マイクを使用します。 本体のマイクゲインノブで 適正な音量に設定します。	
	Hi-Z	ギターやベースなどのハ インピーダンスの楽器 を接続して使用します。 Cノブでゲインを設定し ます。	REC VOL ノブで入力 ゲインをコン トロール
	ダイナミック マイク	ダイナミックマイクを接続 して使用します。 Cノブでゲインを設定し ます。	REC VOL ノブで入力 ゲインをコン トロール
	STEREO LINE 入力	STEREO LINE 入力を 使用します。 入力された信号はモノラ ルミックスされます。 Cノブで -20dB PAD をオンオフできます。	REC VOL ノブで入力 ゲインをコン トロール
	MONO LINE 入力	MONO LINE 入力を 使用します。 Cノブで -20dB PAD をオンオフできます。	REC VOL ノブで入力 ゲインをコン トロール
	USB	USB 接続を使用します。	
	リサンプリング	再生するパターンをリサン プリングします。 Cノブでリサンプリング するトラックを選択します。	

サンプルのセットアップ - サンプリング -

3 トラックパッドを押してサンプルを録音したいトラックを選択。

4 sampling が赤点滅している トラックパッドを押してサンプリングを開始する。

オグジュアリーボタン右 **CANCEL** を押して中断できます。



5 もう一度 sampling が赤点灯している トラックパッドを押して、サンプリングを完了する。

サンプリングしたファイルは、サンプルスロットに自動的にロードされ、Pool \Audio\ プロジェクト名のフォルダ内に置かれます。



- ・サンプリングの最大時間は 40 秒です。
最大時間に達すると自動的にサンプリングが終了します。
 - ・トラックパッドをギュッと押してサンプリング開始、指を離すとサンプリング終了することも可能です。
-

サンプルのセットアップ - サンプリング -

サンプリングしたファイルの名前

サンプリングしたファイルは、以下のルールで自動的に名前が付けられます。

001BIM01

プロジェクト番号 録音ソース 通し番号

録音ソースの略称

略称	録音ソース
BIM	内蔵マイク
GTR	ギター (Hi-Z)
MIC	ダイナミックマイク
MIX	STEREO LINE 入力
INL	MONO LINE 入力 (L ch)
INR	MONO LINE 入力 (R ch)
USB	USB
RSM	リサンプリング



- ・サンプリング前に、オグジュアリーボタン右で **RENAME** を ON にすると、サンプリング完了後に名前を付けることができます。

サンプルのセットアップ - コンバートオーディオ -

オーディオファイルのコンバート

Lofi-12 XT は、Lofi-12 サウンドが簡単に作れる当社独自の Lofi コンバートエンジンを搭載しています。

このコンバート機能を使うと、一般的なステレオオーディオファイルを、簡単に Lofi-12 XT に最適なオーディオファイルに変換できます。

コンバートしたいオーディオファイルを事前にカードリーダーモード (→ P.139) を使用して、Convert フォルダにコピーしてください。「Lofi-12 XT のフォルダ構成」を参照。(→ P.39)

対応 WAV フォーマット

コンバート可能なオーディオファイル形式は以下の通りです。

サンプリング周波数	44.1kHz ~ 96kHz
ビット数	16bit ~ 24bit

使用可能な文字 / 記号

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!#\$%&'() +,-.=@[] ^ _ { } (スペース)



- ・対応していない文字を使用しているファイルは、正常に読み込みができずエラーが発生する場合があります。
- ・40 秒より長いオーディオファイルは、40 秒にカットされます。
- ・対応フォーマット以外のオーディオファイルはコンバートされません。

サンプルのセットアップ - コンバートオーディオ -

オーディオファイルをコンバートする

- 1 カードリーダーモード (→ P.139) を参考に、PC/Mac と接続してオーディオファイルをカード内の以下の場所にコピーする。

"USB ドライブ :\Lofi-12XT\Convert"

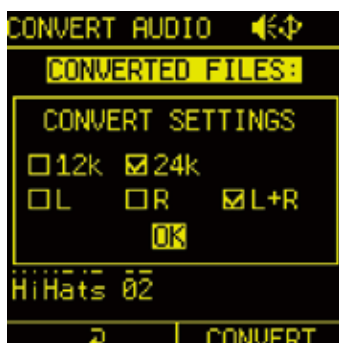
- 2 PROJECT MENU で CONVERT AUDIO を選択。



Convert フォルダ内の全対象ファイルが表示されます。



- 3  オグジュアリーボタン右 **CONVERT** を押して、CONVERT SETTINGS を表示。



サンプルのセットアップ - コンバートオーディオ -

4 コンバートしたい設定を選択し、**OK** ボタンを押してチェックを付ける。

CONVERT SETTINGS	
12k	サンプリング周波数 12kHz でコンバートします
24k	サンプリング周波数 24kHz でコンバートします
L	ステレオファイルの L ch のみ使用します
R	ステレオファイルの R ch のみ使用します
L+R	ステレオファイルをモノラルミックスします

5 OK を選択し、**OK** ボタンを押してコンバートを実行する。
L、R を選択した場合、コンバート完了後のファイル名の末尾に「_L(または R)」が追加されます。

コンバート完了後に元ファイルを削除したくない場合は、DELETE ORIGINAL FILES が表示されたら NO を選択して **OK** ボタンを押してください。



- ・コンバートされたサンプルはサンプルスロットにロードすることで使用できます。(→ P.48)
- ・コンバートされたサンプルはPoolフォルダ内に作成された「Converted_12k (または 24k) _日付タグ」フォルダに置かれます。
- ・モノラルのファイルをコンバートする場合は L、R、L+R の設定は無視されます。

サンプルのセットアップ - インポート -

Lofi-12 XT で使用可能なファイルをインポートする

PC/Mac などで作成した **12kHz** または **24kHz/16bit** の **モノラル WAV ファイル (40 秒以内)** を、Pool フォルダにインポートすることもできます。

- 1 カードリーダーモード (→ P.139) を参考に、PC/Mac と接続してオーディオファイルをカード内の以下の場所にコピーする。

"USB ドライブ : \Lofi-12XT\System\Pool\Audio"

フォルダを作成して、コピーすることもできます。



- ・インポートしたサンプルは、サンプルスロットにロードすることで使用できます。(→ P.48)
使用可能なファイル以外は、SAMPLE POOL に表示されません。
-

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

Lofi-12 XT は、カード内のオーディオファイルをサンプルスロットにロードすることで、トラックで使用できるようになります。

サンプルスロットには、1つのプロジェクトごとに最大 256 個（64MB 上限）のサンプルをロードできます。


サンプルをサンプルスロットにロードする方法

サンプルをサンプルスロットにロードするには 3 つの方法があります。

1. Lofi-12 XT でサンプリングする

サンプリングすると、自動的にサンプルスロットにロードされます。空いているスロットから順番にロードされていきます。

2. SOUND ページでサンプルを選んでロードする

SOUND ページで  ノブを押し込み、TAG SEARCH または SAMPLE POOL からサンプルを選んでロードします。空いているスロットから順番にロードされていきます。

3. PROJECT MENU の SAMPLE SLOT でロードする

PROJECT MENU の SAMPLE SLOT で、サンプルスロットを選んでサンプルをロードします。サンプルスロットにロード済みのサンプルを取り消すこともできます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

サンプルを選んでサンプルスロットにロードする

- 1 SOUND ページで **A** ノブを押し込む。
TAG SEARCH が表示されます。
- 2 サンプルを検索、選択して **○** オグジュアリーボタン右 **LOAD** を押す。
空いているスロットから順番にサンプルがロードされます。

TAG SEARCH の基本操作

TAG SEARCH は、膨大なサンプルライブラリーから、目的のサウンドカテゴリーのサンプルを探す場合に便利です。



カーソルの移動

カーソルをプレビュー再生に合わせると、サンプルをプレビュー再生します。

ページスイッチ左

押しながら 15 パッドを押すと、対応する TAG の付いたサンプルを検索から除外します。



OK ボタン

サンプルを選択します。
押しながらカーソルを移動すると連続で選択できます。

OFF (消灯)

TAG の付いていないサンプルを除き、全てのサンプルが表示されます (TAG の付いていないサンプルは D ノブを押し込むことで表示させることができます)。

ON (青点灯)

対応する TAG の付いたサンプルが表示されます。
複数パッドを押すことで対象サンプルを絞り込んでいきます。











マイナス ON (黄点灯)

ページスイッチ左を押しながら 15 パッドを押すことで、対応する TAG の付いたサンプルを除外することができます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

TAG			
	BD	Bass Drum	バスドラム
	SD	Snare Drum	スネア
	HH	Hi Hats	ハイハット
	DR	Drum	ドラム系
	PC	Percussion	パーカッション
	BS	Bass	ベース
	GT	Guitar	ギター
	KB	Keyboard	キーボード
	SY	Synthesizer	シンセ系
	ST	Strings	ストリングス
	WN	Wind	管楽器
	VO	Voice	ボイス
	FX	FX	効果音
		Loop	ループ
		Slice	スライス
 ページスイッチ右	☆	Favorite	お気に入り

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

TAG SEARCH			
	サンプルの選択		
	TAG SEARCH を抜ける		
D-pad	カーソルの移動		
 B ノブ押込	オーディオファイルのデータベースを最新の状態に更新します。 更新処理は、通常 3 分程度かかります。		
 C ノブ押込	TAG EDIT モードに切り替える	 C ノブ押込 (TAG EDIT MODE)	SAVE TAG TAG EDIT を完了します。
 D ノブ押込	TAG 未設定サンプルを表示する。 新たにサンプリングやインポートしたファイルを素早く見つけられます。		
 オグジュアリーボタン左	BROWSE SAMPLE POOL 表示に切り替わります。	 オグジュアリーボタン右	LOAD 選択したファイルをトラックとスロットにロードします。 複数選択している場合は、連続した空きスロットにロードされます。
		 func +  オグジュアリーボタン右	DELETE 選択したサンプルファイルを削除します。
<input type="checkbox"/> 15 パッド	表示する TAG のオン/オフ	<input type="checkbox"/> ページスイッチ左 + <input type="checkbox"/> 15 パッド	マイナス検索 非表示する TAG のオン/オフ







- ・SAMPLE POOL でフォルダを開くことで、フォルダ内のファイルのみ検索対象にすることができます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

サンプルに TAG を付ける

Lofi-12 XT はサンプルに対して 15 個の TAG を設定することができます。
TAG を設定することで、使いたいサンプルに素早くアクセスすることができます。

- 1  C ノブを押して、TAG EDIT モードにする。
- 2 サンプルを選択して、 15 パッドを押して TAG を付ける。
設定した TAG のパッドは緑点灯します（お気に入りを除く）。
- 3  C ノブを押して、TAG を保存する。
TAG 付けを中止するには  ボタンを押してください。



・TAG 情報はオーディオデータに保存されます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード - SAMPLE POOL からサンプルを選んでサンプルスロット にロードする

- 1 SOUND ページで **A** ノブ押し、TAG SEARCH を表示。

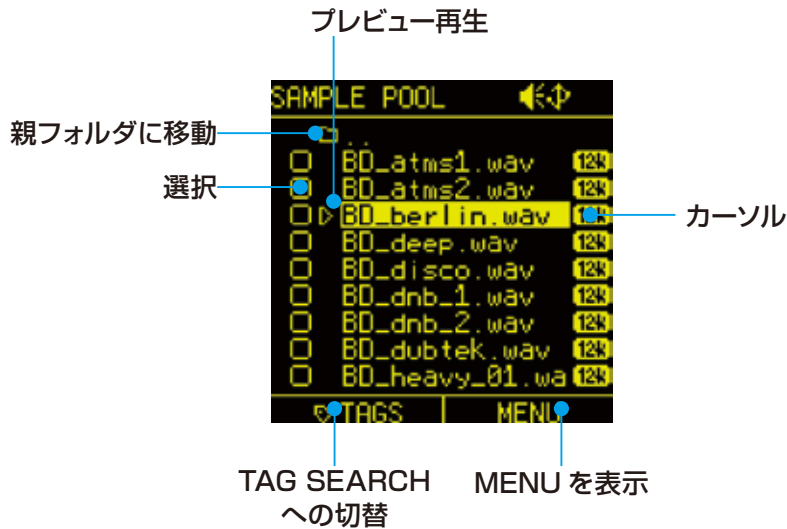


- 2 **B** オグジュアリーボタン左 **BROWSE** を押し、SAMPLE POOL を表示する。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

SAMPLE POOL の基本操作

目的のサンプルが分かっている場合やフォルダ内のファイルを全てサンプルスロットにロードしたい場合は、SAMPLE POOLでのファイル選択が便利でしょう。



カーソルの移動

カーソルをプレビュー再生に合わせて、サンプルをプレビュー再生します。

CLR ボタン

親フォルダへ移動



OK ボタン


サンプルを選択します。
押しながらカーソルを移動すると連続で選択できます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

SAMPLE POOL の基本操作




SAMPLE POOL MENU	
LOAD SELECTED	選択したサンプルをトラックとサンプルスロットにロードします。
FILE NAME SEARCH	表示しているフォルダ内を対象にして、ファイル名を検索します。
SELECT ALL	表示しているフォルダ内のサンプルを全て選択します。
DESELECT ALL	全てのサンプルの選択を取り消します。
DELETE	選択したサンプルファイルを削除します。







- ・SAMPLE POOL でフォルダを開き、 オグジュアリーボタン左 **TAGS** を押して TAG SEARCH にすると、フォルダ内のファイルのみ TAG 検索対象にすることができます。
-

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

ファイルをサンプルスロットにロードする

- 1 サンプルを選択して  ボタンを押す。
- 2  オグジュアリーボタン右を押して MENU を表示する
- 3 LOAD SELECTED を選択して、 ボタンを押す。

ファイルを削除する

- 1 サンプルを選択して  ボタンを押す。
- 2  オグジュアリーボタン右を押して MENU を表示する
- 3 DELETE を選択して、 ボタンを押す。
- 4 YES を選択して、 ボタンを押す。



・削除したファイルは元に戻せないなので、この操作は慎重に行ってください。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

PROJECT MENU の SAMPLE SLOT では、任意のサンプルスロットにサンプルをロードすることができます。

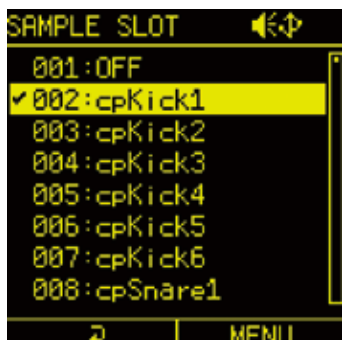
また、サンプルスロットにロード済みのサンプルを取り消すこともできます。

任意のサンプルスロットにサンプルをロードする

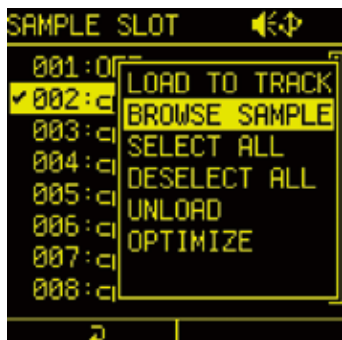
- 1 PROJECT MENU で SAMPLE SLOT を選択。



- 2 サンプルをロードしたいサンプルスロットを選択して **OK** ボタンを押す。



- 3 **OK** ボタン右 **MENU** を押し、BRWOSE SAMPLE を選択して、**OK** ボタンを押す。



(→ P.53) の SAMPLE POOL からのサンプルのロード手順で、選択したサンプルスロットにロードできます。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

SLOT MENU	
LOAD TO TRACK	選択しているサンプルスロットを選択中のトラックにロードします。 1つのスロットを選択している場合に使用できます。
BROWSE SAMPLE	SAMPLE POOL に入場します。
SELECT ALL	全てのサンプルスロットを選択します。
DESELECT ALL	全てのサンプルスロットの選択を取り消します。
UNLOAD	選択したサンプルスロットからサンプルのロードを取り消します。
OPTIMIZE	サンプルのロードと取り消しによって発生したサンプルスロット・メモリ (64MB) のデフラグを行い、空き容量を確保します。

サンプルのセットアップ - サンプルスロットへのロード -

オーディオファイルのデータベースを更新する

オーディオファイルの追加やプロジェクトデータのシェアを行った場合は、オーディオファイルのデータベースを更新してください。

- 1 SOUND ページで **A** ノブを押し、TAG SEARCH を表示。



- 2 **B** ノブを押し。

- 3 YES を選択し、**OK** ボタンを押し、データベースを最新の状態に更新する。



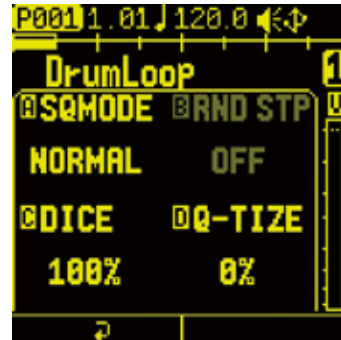
- ・このデータベースの更新を行わないと、新しく追加したオーディオファイルは SAMPLE POOL/TAG SEARCH に表示されません。
- ・更新処理は、通常 3 分程度かかります。
カード内のオーディオファイル数が多い場合は、それ以上の時間がかかります。

各パラメーターパッドの機能 / CONFIG ページ

CONFIG ページでは、各トラックの発音設定、ステップシーケンサーの設定、シーケンスイフェクトの設定を行います。

 パッドを押して、CONFIG ページを表示します。

シーケンサーの設定



CONFIG		
Ⓐ ノブ	LEN	1 ~ 128: シーケンサーのステップ数
Ⓑ ノブ	NOTE	1 ステップのノートの長さ: 1/1 (全音符) 1/2 (2分音符) 1/4 (4分音符) 1/2T (4分3連符) 1/8 (8分音符) 1/4T (8分3連符) 1/16 (16分音符) 1/8T (8分3連符) 1/32 (32分音符) 1/16T (16分3連符) 1/64 (64分音符)

CONFIG ページ

ⓄC ノブ	TRANSP	-24 ~ +24: トラックのトランスポーズ設定 (半音単位)
ⓄD ノブ	CHOKE	OFF: チョークグループを設定しません。 SELF: 同一ノートがリトリガーされた時に発音しているボイスをノートオフします。 1 ~ 4: 同一チョークグループ内のいずれかのトラックがトリガーされたとき、チョークグループ内で発音中の別トラックをノートオフします。



- ・ ⓄA ノブを回すとステップが 1、16、32、48、64、80、96、112、128 の順で変化し、ⓄA ノブを押すことで 1 ずつ増やすことができます。

シーケンスを拡張コピーする

作成したシーケンスを複製することができます。

- 1 **func** を押しながら ⓄA ノブを回して複製する。
複製するたび LEN が 2 倍になります。

CONFIG ページ

シーケンスエフェクトを設定する

Lofi-12 XT は、フレーズのランダムイズが可能なランダム機能、押しているステップをリピート再生するスタッター機能、ノートの発音確率を設定できるダイス機能を搭載しています。

SEQ MODE		
Ⓐ ノブ	SEQ MODE	NORMAL: 通常のシーケンス再生をします。 RANDOM: シーケンスフレーズのランダムイズ再生をします。 STUTTER: 押しているステップをリピート再生します。
Ⓑ ノブ	RND STP (RANDOM 選択時に有効)	OFF、1 ~ 16: ランダム再生時にランダムイズする最小ステップ単位の設定
Ⓒ ノブ	DICE	25% ~ 100%: ノートの発音確率を 25 ~ 100% の範囲で調整
Ⓓ ノブ	Q-TIZE	0% ~ 100%: ノートのマイクロタイミングのクオンタイズを調整 0% でクオンタイズが無効になり、記録されたマイクロタイミング通りにシーケンスが再生されます。 100% でクオンタイズが拍子と同一になります。

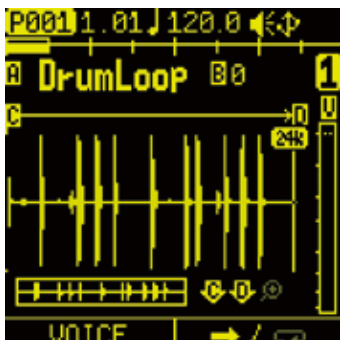
SOUND ページ




SOUND ページでは、サンプルの設定やボイスモードの設定を行います。

 パッドを押して、SOUND ページを表示します。

 ノブや  オグジュアリーボタンでパラメーターを編集します。

サンプルを編集する



SEQ MODE		
 A ノブ	SAMPLE SLOT	1 ~ 256: サンプル (スロット) の選択
 B ノブ	PITCH	-1200 ~ +1200: ピッチの編集 ゆっくり回すと1セントずつピッチ変更できます。  を押しながら回すと、半音単位 (100 セント) で変更できます。
	REPITCH TO TEMPO	HALF、1BAR、2BARS、3BARS、4BARS、8BARS: 選択範囲の小節数を設定することで、サンプルがテンポに合った長さになるようにピッチが変更されます。サンプルが BPM40 ~ 250 を超えてしまった場合は、ピッチは変更されません。

ⓄC ノブ	START	サンプルの再生開始位置の編集
ⓄD ノブ	END(LENGTH)	サンプルの再生範囲の編集
○ オグジュアリーボタン右	1SHOT/LOOP	<p>1SHOT:</p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押すと、サンプルを START から END(LENGTH) まで再生します。</p> <p>LOOP:</p> <p><input type="checkbox"/>トラックパッドを押している間、サンプルの START から END(LENGTH) で設定した範囲をループ再生します。</p>






- 再生モードを1SHOTに変更すると、AMPのENVが自動的にONになります。ドラムループ等、サンプルをリリースさせずに最後まで鳴らしたい場合は、AMP ENVをOFFに設定してください。
LOOPに変更すると、AMPのENVが自動的にOFFになり、いわゆるGATE再生されます。パッドを離れた時にサウンドをリリースさせたい場合は、AMP ENVをONに設定してください。
- ⓄA ノブを押し込むことでTAG SEARCHが表示され、サンプルをサンプルスロットにロードすることができます。
TAG SEARCHに関しては(→ P.49)
- ⓄC、ⓄD ノブを押し込むことで波形の拡大、縮小モードになります(虫眼鏡アイコンが点灯します)。

SOUND ページ



トラックのボイスモードを設定する

SOUND ページで  オグジュアリーボタン左 **VOICE** を押します。




VOICE		
 A ノブ	VOICE	MONO,POLY,SLICE: ボイスモードの選択
 B ノブ	GLIDE (VOICE が MONO の時)	0 ~ 127: GLIDE の設定
	ARP (VOICE が POLY の時)	OFF: アルペジエーター再生をしません UP、DOWN、UPDOWN、 DOWNUP UP-DOWN、DOWN-UP、 RANDOM、UP1OCT、 UP2OCT、DOWN 1OCT、 DOWN2OCT、ORDER:
 C ノブ	12BIT	ON、OFF: 12ビットサンプラーモードのオンオフ ON にするとビットレートを 12bit に 落とし、古いサンプラーのサウンドを 再現します。

SOUND ページ

VOICE		
 D ノブ	VELOCITY SENSITIVITY	0 ~ 127: トラックのベロシティ感度の設定 数値が大きくなるにつれてベロシティ 範囲が大きくなります 0 にすると常にベロシティ 127 で発 音します 本体のベロシティー設定について は「パッド感度を変更する」を参照 (→ P.137)
 オグジュア リーボタン右	LEGATO (VOICE が MONO の時)	OFF: リトリガーありの 1 ボイス出力 ON: リトリガー無しの 1 ボイス出力
	SLICE (VOICE が SLICE の時)	SLICE/CHOP 画面を表示


SOUND ページ

グライドの設定 (MONO のとき)

ボイスモードを MONO に設定することで、グライドを設定することができます。
また  オグジュアリーボタン右を押して、LEGATO をオンにすることでリトリガー無しの 1 ボイス出力にすることができます。

アルペジエーターの設定 (POLY のとき)













ボイスモードを POLY に設定することで、アルペジエーター機能を使用することができます。

PAD モードで  15 パッドを複数押さえると、現在の BPM (→ P.21) と NOTE (→ P.60) の設定にシンクロして 1 音ずつ発声していくアルペジエーターです。

アルペジエーターのタイプに沿ったシーケンスを行います。

PLAY ORDER タイプは、 15 パッドの押下順番通りにシーケンスします。

アルペジエーターが設定されたトラックは、D-pad のロール機能が無効になります。

ARPEGGIATOR			
UP		RANDOM	
DOWN		UP1OCT	
UP DOWN		UP2OCT	
DOWN UP		DOWN1OCT	
UP&DOWN		DOWN2OCT	
DOWN&UP		PLAY ORDER	 鍵盤の押下順番 通りに発音

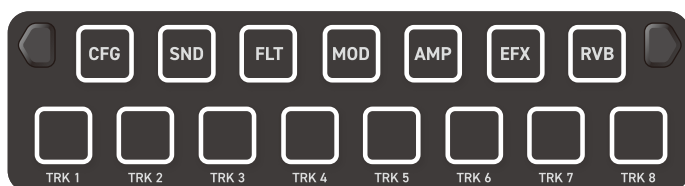
SOUND ページ

スライスモード

ボイスモードを SLICE に設定することで、サンプルを最大 15 個のスライスに分割できます。

オートスライス機能を使用すれば、波形を分析して自動でスライスを作ることができます。

スライスされたサンプルは、アサイン先の□15 パッドごとにレベルとピッチを調整することができます。



・スライスは **TRK1** ~ **TRK8**、**CFG** ~ **RVB** の順番で□15 パッドにアサインされます。

SOUND ページ

サンプルをスライスする (MANUAL スライス)

- 1 VOICE ページで **A** ノブを回して、SLICE を選択。



- 2 **○** オグジュアリーボタン右 **SLICE** を押す。



- 3 以下の方法でスライスを作成する。

CHOP/SLICE	
A ノブ	ロケーターの移動
A ノブ押込	スライスの追加
B ノブ	スライスの移動
C ノブ	波形表示の移動
D ノブ	波形表示の拡大 / 縮小
CLR	スライスの削除
○ オグジュアリーボタン右 TO AUTO	オートスライスモードに切り替え

SOUND ページ



- ・サンプル再生中に任意のタイミングで□15 パッドを押すことでもスライスポイントを追加できます。
 - ・□15 パッドを押すことでスライスを選択します。
-

SOUND ページ

サンプルをスライスする (AUTO スライス)

- 1 VOICE ページで **A** ノブを回して、SLICE を選択。
- 2 **○** オグジュアリーボタン右 **SLICE** を押す。
- 3 CHOP/SLICE 画面で **○** オグジュアリーボタン左 TO AUTO を押す。



- 4 以下の方法でスライスを作成する。

CHOP/SLICE	
A ノブ	感度の調整
A ノブ押込	オートスライスの実行
B ノブ	スライスの移動
C ノブ	波形表示の移動
D ノブ	波形表示の拡大 / 縮小
CLR	スライスポイントの取り消し
○ オグジュアリーボタン左 TO MANUAL	マニュアルスライスモードに切り替え

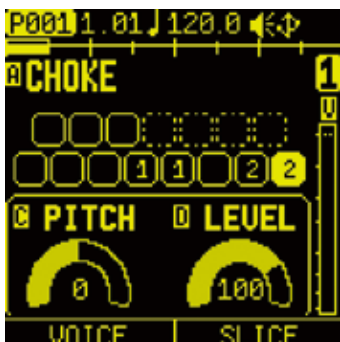
SOUND ページ


スライスのパラメーターを調整する




- 1 CHOP/SLICE ページで  オグジュアリーボタン右を押す。



- 2  を押して、PAD モードにする。



- 3 スライスがアサインされている  15 パッドを押して、編集したいスライスを選択。
- 4 以下の方法でスライスを編集する。

CHOP/SLICE		
 A ノブ	CHOKE	NONE、1～4: スライスのチョークグループを設定します。
 C ノブ	PITCH	-1200～1200: スライスのピッチを設定します。 押し込みながら回すと、半音単位で調整できます。
 D ノブ	LEVEL	0～127: スライスの音量を設定します。

SOUND ページ

スライスを保存する

SLICE/CHOP ページで **func** + **OK** ボタンを押すと、編集したスライス情報を保存することができます。

保存したスライス情報はオーディオファイルに直接書き込まれるので、プロジェクトやパターンを変更した場合でも同じ設定で使用することができます。

- 1 **func** + **OK** ボタンを押す。



- 2 YES を選択してスライス情報を保存する。

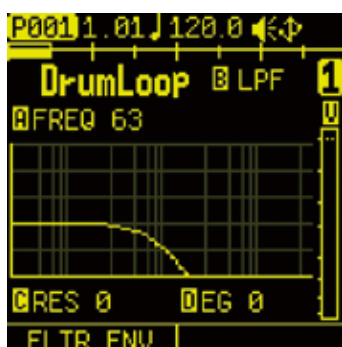
FILTER ページ



FILTER ページでは、フィルターの設定を行います。

 パッドを押して、FILTER ページを表示します。

必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

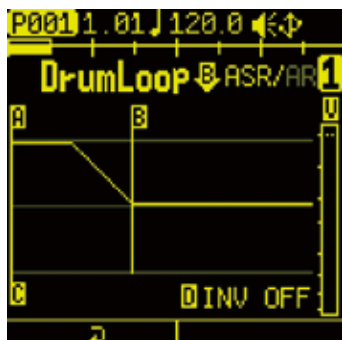
フィルターを編集する



FILTER		
 A ノブ	FILTER FREQ	0 ~ 127: カットオフ周波数
 B ノブ	FILTER TYPE	OFF、LPF、HPF、BPF: フィルタータイプの選択
 C ノブ	FILTER RESONANCE (BPF : BAND WIDTH)	0 ~ 127: フィルターレゾナンス BPF を選択した場合、バンド幅になります。
 D ノブ	EG DEPTH	0 ~ 127: エンベロープモジュレーションの深さ

FILTER ページ

フィルターのエンベロープを編集する




FILTER ENVELOPE		
⊖A ノブ	EG ATTACK	0 ~ 127: エンベロープのアタックの設定
⊖B ノブ	EG RELEASE	0 ~ 127: エンベロープのリリースの設定
⊖B ノブ 押込	ASR/AR	エンベロープを切り替えます ASR: Attack Sustain Release タイプのエンベロープ AR: Attack Release タイプのエンベロープ
⊖C ノブ	EG DELAY	0 ~ 127: エンベロープが開始されるまでの時間
⊖D ノブ	EG INVERT	OFF、ON: エンベロープの反転

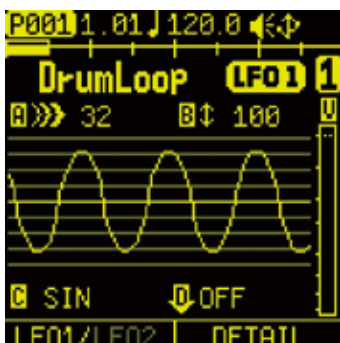
MODULATION ページ



Lofi-12 XT には、アサイン先を選択可能な LFO が各トラックに 2 基搭載されています。

 パッドを押して、MOD ページを表示します。




必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

LF01 と 2 の切替、編集をする

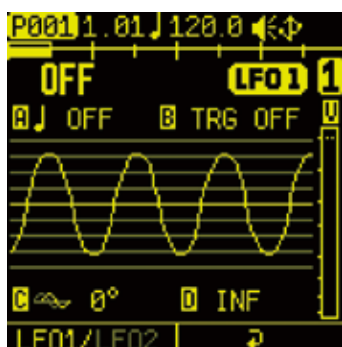


LFO1/2		
 A ノブ	RATE	0 ~ 127: モジュレーションの速さ 0 ~ 30Hz の範囲で LFO の動作する周波数が変化します。 -64 ~ +63: SYNC が設定されている場合、テンポを基準にした相対的な速さになります。
 B ノブ	DEPTH	0 ~ 127: モジュレーションの深さ 値が大きいほど変化量が大きく、0 で全く変化しなくなります。

MODULATION ページ

LF01/2		
 C ノブ	WAVESHAPE TYPE	SIN、SQR、TRI、SAW、RSAW、RAND、SMRND、LOG、RLOG、PLS10、PLS25、PLS75、PLS90、STEP2、STEP3、STEP4、STEP5、STEP6、STEP7: LFO の波形タイプの選択
 D ノブ	ASSIGN	↓ D ノブ押込: モジュレーション対象の選択 (→ P.79)
		⊞ D ノブ操作: モジュレーション対象パラメーターの調整
 オグ ジュアリー ボタン左	LF01/LF02	LF01 と LF02 の切り替え

MODULATION ページ



MOD DETAIL		
Ⓐ ノブ	SYNC	Off 1/1 (全音符) 1/2 (2分音符) 1/4. (付点4分音符) 1/4 (4分音符) 1/8. (付点8分音符) 1/2T (4分3連符) 1/8 (8分音符) 1/16. (付点16分音符) 1/4T (8分3連符) 1/16 (16分音符) 1/8T (8分3連符) 1/32 (32分音符) 1/16T (16分3連符) 1/64 (64分音符)
Ⓑ ノブ	TRIG MODE	TRG OFF: リトリガーオフ 0 ~ 100: トリガーと同時に LFO がリスタート 数値が大きいほど最大値までのフェード イン時間が長くなります。
Ⓒ ノブ	PHASE	0° ~ 359° : LFO 開始位置の編集
Ⓓ ノブ	COUNT	INF、1 ~ 50: LFO 再生回数の設定

MODULATION ページ

モジュレーション可能なパラメーター

ASSIGN
PTICH
SAMPLE START
SAMPLE LENGTH
FLT FREQ
FLT RESO
LF01 SHAPE
LF01 DEPTH
LF01 PHASE
LF01 SYNC
LF01 RATE
LF02 SHAPE
LF02 DEPTH
LF02 PHASE
LF02 SYNC
LF02 RATE
AMP ATTACK
AMP RELEASE
AMP LEVEL
AMP PAN
SEND DELAY
SEND REVERB

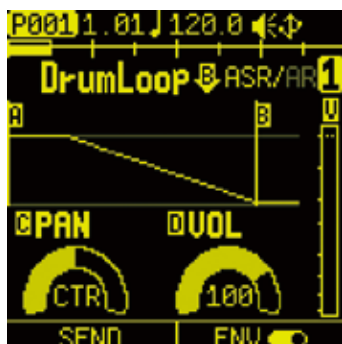
AMP ページ




AMP ページでは、トラックのアンペンベロープの設定等を行います。

 パッドを押して、AMP ページを表示します。




必要に応じて、 オグジュアリーボタンを押して編集したいパラメーターのページを表示します。

エンベロープ、パン、ボリュームを編集する



AMP		
 A ノブ	EG ATTACK	0 ~ 127: エンベロープのアタック ノートオン後に VOL で設定した音量に 到達するまでの時間を設定します。
 B ノブ	EG RELEASE	0 ~ 127: エンベロープのリリース ノートオフ後に LEVEL が 0 になるま での時間を設定します。
 B ノブ押込	ASR/AR	エンベロープタイプを切り替えます。 ASR: Attack Sustain Release タイプのエ ンベロープ <input type="checkbox"/> トラックパッドを押している間は発音 を継続し、離してから RELEASE で設 定した長さを再生します。 AR: Attack Release タイプのエンベロープ トラックパッドを押している長さに関わ らず、RELEASE で設定した長さを再 生します。

AMP ページ

 C ノブ	PAN	L63 ~ CTR ~ R63: トラックのパンの調整
 D ノブ	VOL	0 ~ 127: サウンドのボリューム アンプエンベロープの最大ボリュームを設定します。
 オグジュアリーボタン右	ENV	ON: アンプエンベロープを有効にします。 OFF: アンプエンベロープが無効になります。 ワンショットの場合、START/END (LENGTH) で設定したサンプル範囲を全て再生します。 ループの場合、トラックパッドを押している間のみサンプルをループ再生します。 (GATE 再生)

AMP ページ

SENDエフェクトへのSEND量を調整する



AMP		
Ⓐ ノブ	DELAY SEND	0 ~ 127: トラックのディレイエフェクトへのSEND量
Ⓑ ノブ	REVERB SEND	0 ~ 127: トラックのリバースエフェクトへのSEND量



- ・PAN、DELAY SEND、REVERB SEND はミキサーとパラメーターを共有しています。

EFFECT ページ

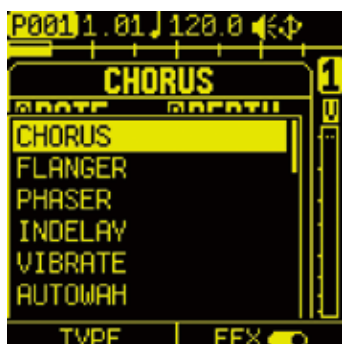
Lofi-12 XT は、各トラックに 1 つのインサートエフェクトを設定することができます。


EFX を設定する

- 1  パッドを押して、EFX ページを表示。



- 2  オグジュアリーボタン左 **TYPE** を押して EFX TYPE を選択する。



- 3 使用したいエフェクトを選択して  ボタンを押す。

- 4  オグジュアリーボタン右を押して、EFX をオンにする。

EFFECT ページ

EFX TYPE				
EFX TYPE	A ノブ	B ノブ	C ノブ	D ノブ
CHORUS	RATE	DEPTH		MIX
FLANGER	RATE	DEPTH	FEEDBACK	MIX
PHASER	RATE	STAGE	INVERT	MIX
INDELAY	TIME	FEEDBACK	BPM SYNC	BALANCE
VIBRATO	RATE	DEPTH	BPM SYNC	
AUTO WAH	TYPE	SENS	DEPTH	Q
TREMOLO	RATE	DEPTH	BPM SYNC	
RING MOD	TYPE	RATE	DEPTH	MIX
DETUNE	RATE	DEPTH		MIX
OVER DRIVE	GAIN	TONE		LEVEL
CRUSHER	SAMPLE RATE	BIT RATE	CUTOFF	BALANCE
LO & HI EQ	LOW-FREQ	HIGH-FREQ	LOW-GAIN	HIGH-GAIN
LPF	CUTOFF	RESO		
HPF	CUTOFF	RESO		
BPF	CUTOFF	RESO		
ISOLATOR	CUTOFF	BALANCE		
TILT FILTER	CUTOFF	BALANCE		
VINYL NOISE	CUTOFF FREQ	CUTOFF LEVEL	NOISE LEVEL	
WOW & FLUTTER	WOW	FLUTTER		
S. MAXIMIZER	GAIN	FREQ		LEVEL
STOMP COMP	SENS	ATTACK		LEVEL
RACKCOMP	ATTACK	RELEASE	RATIO	THRESHOLD

REVERB/DELAY ページ

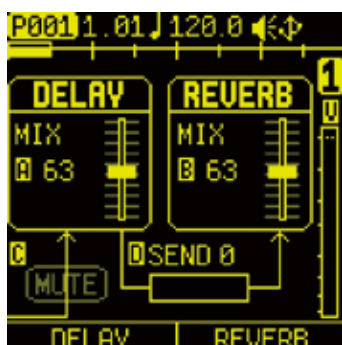
Lofi-12 XT は、センド専用の Delay と Reverb エフェクトが搭載されています。

AMP ページやミキサーでトラックごとにセンド量を調整可能です。

RVB パッドを押して、Reverb/Delay ページを表示します。

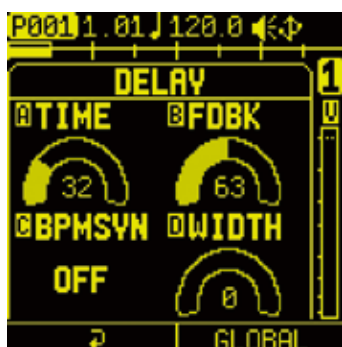
○ オグジュアリーボタン左を押して DELAY、または右ボタンを押して REVERB の編集を行います。

Delay と Reverb を編集する



REVERB/DELAY		
Ⓐ ノブ	Delay Mix	0 ~ 127: Delay のミックス量
Ⓑ ノブ	Reverb Mix	0 ~ 127: Reverb のミックス量
Ⓒ ノブ	INPUT Mute	OFF、ON: Delay への入力をミュートします。
Ⓓ ノブ	Delay to Reverb Send	0 ~ 127: Delay から Reverb へのセンド量を調整します。

REVERB/DELAY ページ



DELAY		
Ⓐ ノブ	TIME	0 ~ 127: ディレイタイムの設定 BPM SYNC を設定すると、無効になります。
Ⓑ ノブ	FEEDBACK	0 ~ 127: フィードバック量の設定
Ⓒ ノブ	BPM SYNC	off 1/1 (全音符) 1/2 (2 分音符) 1/4. (付点 4 分音符) 1/4 (4 分音符) 1/8. (付点 8 分音符) 1/2T (4 分 3 連符) 1/8 (8 分音符) 1/16. (付点 16 分音符) 1/4T (8 分 3 連符) 1/16 (16 分音符) 1/8T (8 分 3 連符) 1/32 (32 分音符) 1/16T (16 分 3 連符) 1/64 (64 分音符)
Ⓓ ノブ	WIDTH	0 ~ 127: エフェクト音のステレオ幅の調整 127 に設定するとピンポンディレイにすることができます。
○ オグジュアリーボタン右	GLOBAL OFF/ON	OFF: パターンに保存されている設定を使用します。 ON: 現在の設定がグローバル設定として保存され、使用されます。

REVERB/DELAY ページ

REVERB		
🔊A ノブ	PRE DELAY	0 ~ 127: プリディレイの発生時間の設定
🔊B ノブ	DECAY	0 ~ 127: ディケイタイムの設定
🔊C ノブ	LO CUT	0 ~ 127: ローカット EQ のゲイン調整 数値が大きいほどローカットします。
🔊D ノブ	HI DAMP	0 ~ 127: 高音域の減衰量の調整 数値が大きいほど高音域の減衰量 が少なくなります。
🔊オグジュアリー ボタン右	GLOBAL OFF/ON	OFF: パターンに保存されている設定を使用します。 ON: 現在の設定がグローバル設定として 保存され、使用されます。

パターンの作成 / ステップシーケンサーの概要

概要

Lofi-12 XT のステップシーケンサーは、演奏情報やパラメーター情報を格納した複数のステップ（シーケンス）を順番に再生していきます。



ステップはノート情報、パラメーター情報を格納しています。

シーケンスは複数のステップをまとめたものです。



シーケンサーはステップ1から順番に再生していきます。

Lofi-12 XT は、8トラックのシーケンサーを搭載しています。8つのシーケンサーでパターンを作成していきます。

Lofi-12 XT のステップシーケンサーの特長

Lofi-12 XT に搭載されているシーケンサーには下記の特長があります。

3つの入力方式

ステップレコーディング

シーケンサーを停止させた状態で各ステップにノートを記録

リアルタイムレコーディング

パッドを演奏しながらノートをステップに記録

ダイレクトレコーディング

シーケンサー再生中でも直接ステップにノートを記録

ステップシーケンサーの概要





自由度の高いシーケンス

最大 128 ステップシーケンス

トラックごとに 1 ~ 128 ステップまで自由にステップ数を設定可能

さまざまなノート長に対応

1 ステップの長さを 1 小節から 64 分音符の長さまで自由に設定可能

 (赤点灯)	ノート情報
 (オレンジ点灯)	パラメーターロック情報
 (黄点灯)	ノート+パラメーターロック情報
 (黄緑点灯)	タイノート情報 (REC 赤点灯時に表示)



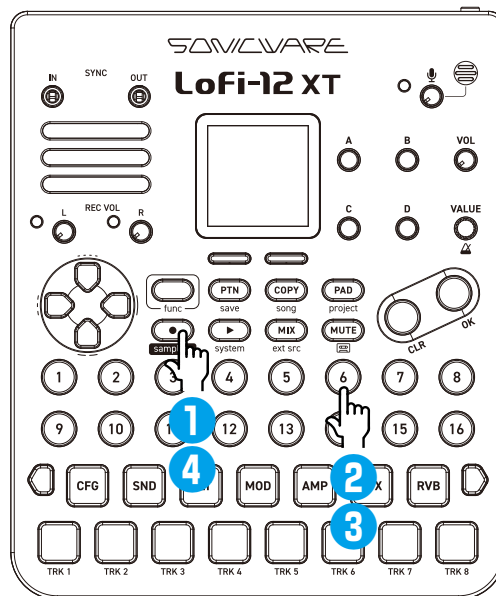
- ・シーケンサーの設定は CFG ページで行います。
CFG ページについては (→ P.60)
 - ・Lofi-12 XT の最大同時発音数は 20 ボイスです。
-

シーケンスの作成 ーステップレコーディングー

ステップレコーディングでは、再生を停止した状態でじっくりシーケンスを作成することができます。

基本操作

- 1 停止中に **●** を押す (赤点灯)。
- 2 入力したい位置の **●** ステップキーを押す。
入力されているステップの LED は赤点灯します。
再度、同じ **●** ステップキーを押すと削除されます。
- 3 手順2を繰り返し、シーケンスを作成する。
- 4 **●** を押しステップレコーディングを終了する。



- ・PAD モード中は選択した **●** ステップキーが緑点滅し、**□** 15 パッドを押すことでステップにノートが入力されます。ノートが入力されると、**●** ステップキーが緑と赤の点滅に変わります。
- ・PAD モード中は **CLR** ボタン+ **●** ステップキーを押してノートを削除します。

シーケンスの作成 ーステップレコーディングー

ステップ 17 以降の選択

手順1の後に、ページ切替スイッチを押すことでステップ 17 以降を選択できます。ページ切替スイッチを長押ししながら、青点灯した□トラックパッドを押すことでも選択可能です。

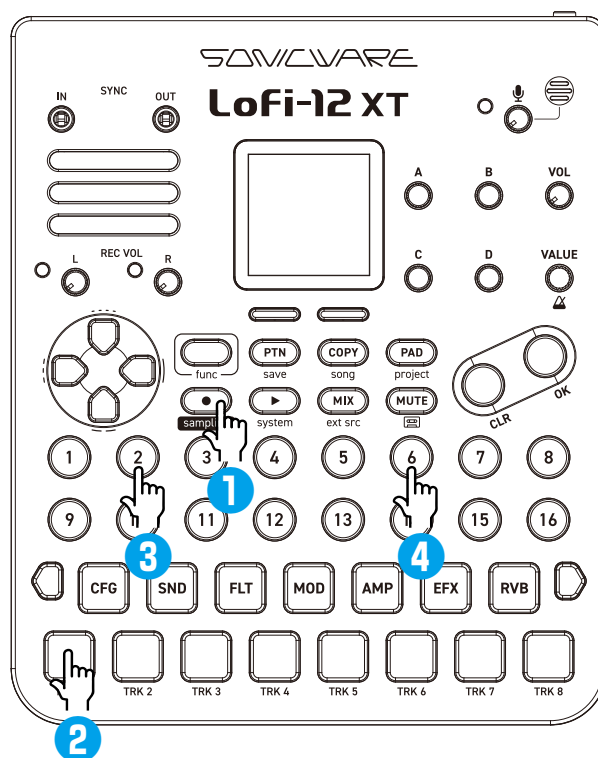


- ・ CONFIG ページの LEN の長さの設定によって、ページ切替スイッチが有効 / 無効になります。
-

シーケンスの作成 ーステップレコーディングー

タイ付きノート（長音）を入力する

- 1 停止中に **●** を押しステップレコーディングを開始する（赤点灯）。
- 2 **□**トラックパッドを押しつづける。
- 3 ノートを入力開始したい位置の **●**ステップキーを押す。
- 4 ノートを終了したい位置の **●**ステップキーを押す。
開始ステップから終了ステップまでのタイ付きノートが入力されます。





- ・タイノートは **●** 赤点灯時に **●**ステップキーが黄緑点灯して表示されます。
● 消灯時は **func** + ノート入力済み **●**ステップキーを押すことで表示されます。
- ・PAD モード中は選択した **●**ステップキーが緑点滅し、**□** 15 パッドを押すことでステップにノートが入力されます。ノートが入力されると、ノートの開始ステップが緑と赤の点滅に、タイノートの終了ステップが緑と黄緑の点滅に変わります。
- ・PAD モード中は **CLR** ボタン + **●**ステップキーを押してノートを削除します。

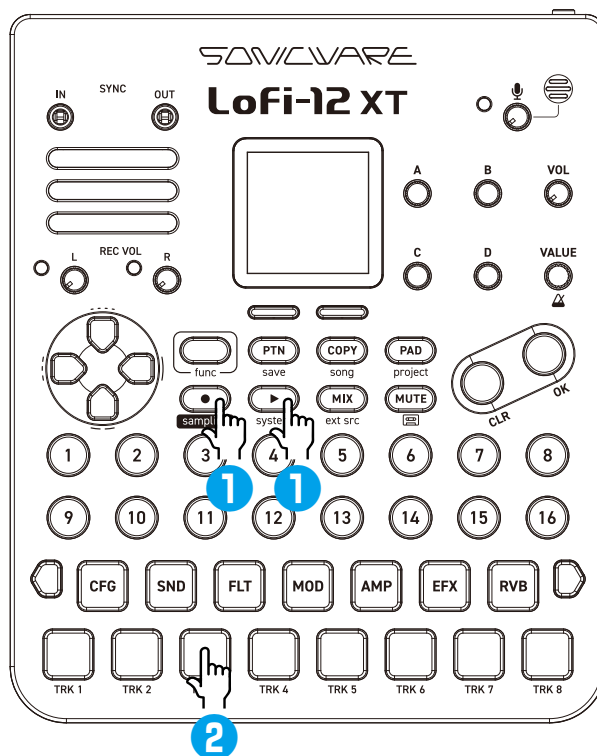
シーケンスの作成 –リアルタイムレコーディング–








リアルタイムにパッドを演奏しながらシーケンスを作成することができます。

基本操作

1  を押したあと  を押す。

2 パターンが再生されるので入力したい位置で  トラックパッドを押す。



- ・リアルタイムレコーディング中にもう一度入力をやり直したい場合は、 +  トラックパッドを押すと、入力したノートを簡単に削除できます。PADモードでリアルタイムレコーディング中の場合は、 +  +  トラックパッドを押すと、入力したノートが削除できます。
- ・特定のステップのノートだけ削除したい場合は、 +  ステップキーを押します。

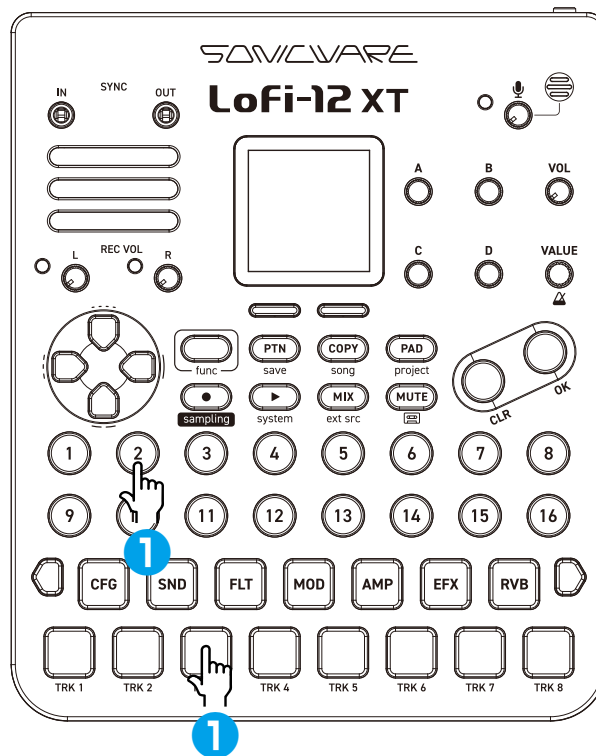
シーケンスの作成 –ダイレクトレコーディング–

ダイレクトレコーディングでは、停止中、再生中どちらの状態でも直接ステップにノートを入力することができます。

特に再生中にノートを直接入力するやり方は、シーケンスをビルトアップしながらパフォーマンスすることに適しています。

基本操作

- 1 □トラックパッドを押しながら入力したい位置の●ステップキーを押してノートを入力する。




シーケンスの作成 - ノートのクリア -

ノートをクリアする

- 1  ボタンを押しながら、削除したい位置の●ステップキーを押す。

タイノートをクリアする

- 1  を押す (赤点灯)。
- 2 削除したい位置の●ステップキー (黄緑点灯) を押す。
押したステップから終端まで連続したタイノートをクリアします。
開始ステップを押すと、タイノートを含むノート自体が削除されます。

パラメーターロック

Lofi-12 XT は、ノブの操作をステップに記録することができるパラメーターロック機能を搭載しています。

時間の経過とともにサウンドを変化させることができ、表現力豊かなパターンの作成に役立ちます。

パラメーターロック情報の入力方法は下記 2 つの方法があります。

ダイレクト入力

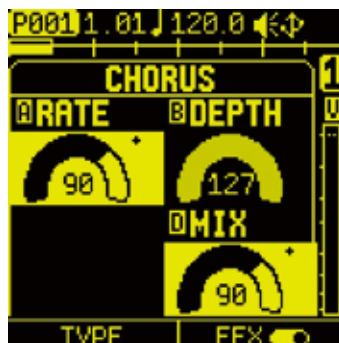
- ステップキー を押しながらノブを回して直接入力する基本的な方法

リアルタイム入力

再生しながらリアルタイムにノブを操作し、その動きを記録する方法



パラメーターロックされているパラメーターは+マークが表示されます。

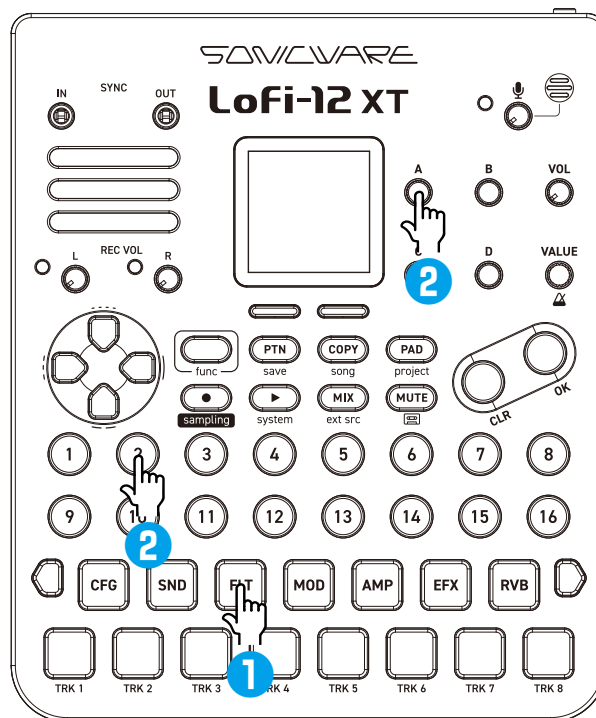


●ステップキーを押している間、パラメーターロックされたパラメーターは反転表示されます。

パラメーターロック –ダイレクト入カー

ダイレクト入力をする

- 1 □パラメーターパッド押して、パラメーターロックを記録したいページを表示。
- 2 ●ステップキーを押しながら、A～Dノブを操作。




パラメーターロック ーダイレクト入カー



パラメーターロックのクリア

パラメーターロックしたステップのクリア

- 1  +  パラメーターロック入力済みのステップキー（オレンジ点灯）を押す。



- ・NOTE とパラメーターロック情報の両方が入力されている  ステップキーは黄色点灯しています。

パラメーターロックのみ削除したい場合は、 +  ステップキーを押しSTEP DATA メニューから削除することができます。





STEP DATA メニューについては (→ P.100)

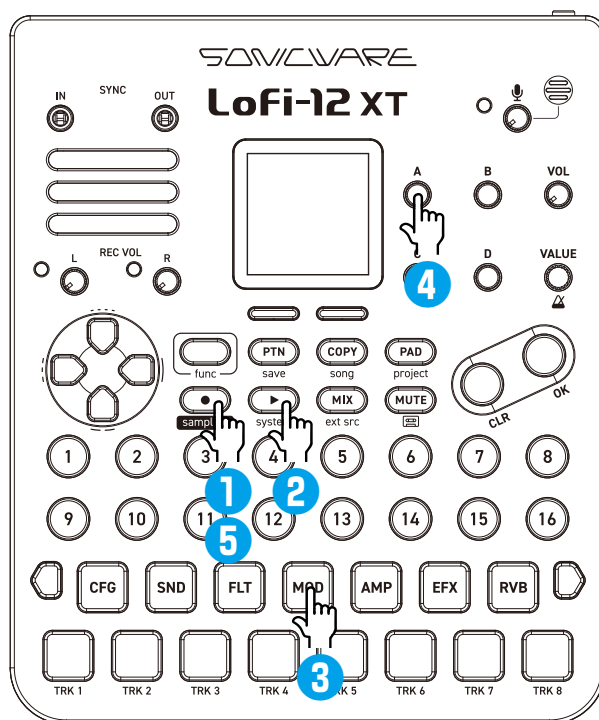
任意のパラメーターロック情報の一括クリア


- 1  を押しながらクリアしたい  A ~ D ノブを押す。
選択しているトラックの該当するパラメーターロック情報が全て削除されます。

パラメーターロック –リアルタイム入カー

リアルタイム入力をする (パラメーター REC)

- 1 を押す (赤に点灯)。
- 2 を押しパターンを再生。
- 3 記録したい□パラメーターパッドを押す。
- 4 A ~ D ノブを操作して記録。
- 5 を押して、リアルタイム入力を終了する。



-  ボタン + □トラックパッドでトラックのノートやパラメーターロック情報を一括でクリアすることができます。

シーケンスの編集

入力済みのステップを選択して、入力したノートやパラメーターロックなどを編集することができます。

ステップデータを編集する

- 1 **func** + 入力済み ● ステップキーを押して、STEP DATA メニューを表示。
- 2 Ⓐ ノブで編集したいパラメーターを選択し、Ⓑ ノブでパラメーターを変更する。



STEP DATA	
Ⓐ ノブ	データ選択
Ⓑ ノブ	パラメーターの変更
Ⓒ ノブ	MICRO TIMING の調整
○ オグジュアリーボタン右	UNDO、REDO
func + CLR	選択中のデータの削除



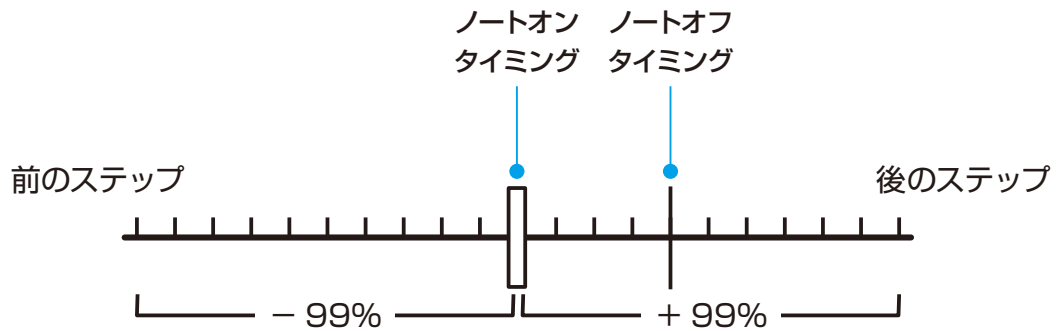
- ・ UNDO/REDO は直前に変更したパラメーターまたは削除したデータが対象です。
- ・ 十字キーの左右でステップの移動を行うこともできます。

シーケンスの編集

MICRO TIMING

Lofi-12 XT のシーケンサーは、MICRO TIMING 情報（ノートオンのタイミングとノートオフのタイミング）を記録 / 編集できます。

リアルタイムレコーディングでは、パッドを演奏したままに記録するノンクオンタイズレコーディング（分解能：1 = 72）を行なっていて、そのタイミングをトラックごとにクオンタイズしたり、ノートごとに編集することが可能です。ステップレコーディングやダイレクトレコーディングしたビートを前後に移動させることも簡単にできます。



シーケンスの編集



ステップデータを編集する

STEP DATA	
NOTE	
NOTE	入力されているノート (C-1 ~ G9)
VELOCITY	ノートのベロシティ
ROLL	ロール情報
OFF TIM	ノートオフのタイミング
SWP RNG	スウィープレンジ
SWP CRV	スウィープカーブ
SWP SPD	スウィープスピード
PRESSURE	ロール入力の強さ




PAREMETER			
SOUND			
SMPL	PITCH	START	LENGTH
GLIDE/ARP	12BIT	VELSNS	
FILTER			
TYPE	FREQ	RESO	EG DPTH
EG DLY	EG ATK	EG DCY	EG INV
MOD			
WAVE1&2	AMP1&2	PHASE1&2	RTRG1&2
SYNC1&2	RATE1&2	COUNT1&2	
AMP			
VOL	PAN	ATTACK	DECAY
DELAY	REVERB		
EFX			
EFFECT ページ参照 (→ P.84)			

シーケンスの編集

ステップのクリア


- 1  ボタン+ ステップキーを押す。
そのステップのノート情報やパラメーターロック情報が削除されます。

トラック情報をクリアする

- 1  ボタン+ トラックパッドを押す。
- 2 削除したい項目を選択して、 ボタンを押す。

CLR TRACK DATA	
ALL	トラックのパラメーターとシーケンスの全てを削除します。
PRM	トラックのパラメーターを削除します。
SEQ	ノート情報を削除します。
LCK	パラメーターロック情報を削除します。



- ・パラメーターパッドの設定を初期値に戻したい場合は、 ボタン+パラメーターパッドを押します。
-

コピー機能

トラックの設定を別のトラックにコピーする

- 1 **COPY** を押したまま (緑点灯)、コピーしたい **□** パラメーターパッドを押す。
COPY がオレンジ色に点滅します。
- 2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、オレンジ色に点滅している **□** トラックパッドを押して、トラック設定をペーストする。



- ・ **CLR** ボタン + **COPY** で現在コピーしている内容をクリアすることができます。コピー内容をクリアしない限り、何度でも同じ内容をペーストすることができます。

トラックを別のトラックにコピーする

- 1 **COPY** を押したまま (緑点灯)、コピーしたい **□** トラックパッドを押す。
COPY がオレンジ色に点滅します。
- 2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、オレンジ色に点滅している **□** トラックパッドを押して、トラック設定をペーストする。

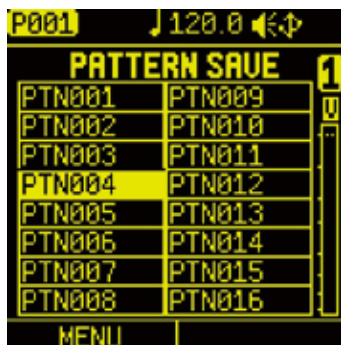
ステップをコピーする

- 1 **COPY** を押したまま、コピーしたい **●** ステップキーを押す (緑点灯)。
COPY がオレンジ色に点滅します。
- 2 もう一度 **COPY** を押したまま (赤点灯)、**●** ステップキーを押してステップをペーストする。

パターンの保存と管理

パターンを保存する

- 1 **func** + **PTN** save を押して、PATTERN SAVE メニューを表示。
- 2 ●ステップキーを押して、保存先のパターンを選択する。
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)
「パターン選択」参照 (→ P.18)
- 3 **OK** ボタンを押す。

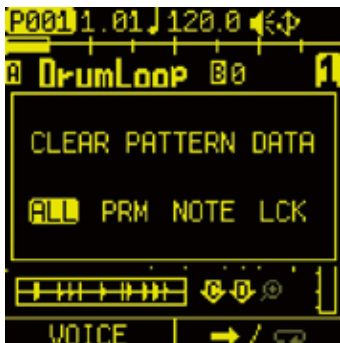


- ・保存したパターンはプロジェクトを保存しないと失われてしまいます。電源を切る前に必ずプロジェクトを保存してください。
プロジェクトを保存する (→ P.122)
 - ・誤ってパターンを保存してしまった場合は、プロジェクトのリロードを行うことで、パターンの保存を取り消すことができます。
-

パターンの保存と管理

パターンをクリア（初期化）する

- 1 CLR ボタン + PTN を押す。
- 2 表示される項目から、クリアしたいものを選択して OK ボタンを押す。

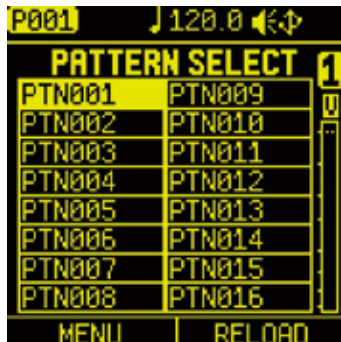


CLEAR PATTERN DATA	
ALL	パターンを初期化します。
PRM	トラック設定をクリアします。
NOTE	ノート情報をクリアします。
LCK	パラメーターロック情報をクリアします。

パターンの保存と管理

パターンをリネームする

- 1 **PTN** を押す。
- 2 ●ステップキーを押して、リネームするパターンを選択する。
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)



- 3 **○** オグジュアリーボタン左 **MENU** を押し、PATTERN MENU を表示する。
RENAME を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 リネームが完了したら、**○** オグジュアリーボタン右 **OK** を押してリネームを保存する。

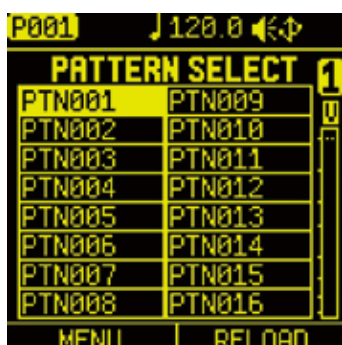


パターンの保存と管理

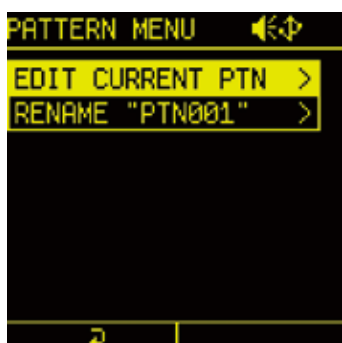
パターン内のトラックを編集する

TRACK EDIT メニューを使うことでパターン内のトラックのスワップ、コピー、移動、クリアを行うことができます。

- 1 **PTN** を押す。
- 2 **●**ステップキーを押して、パターンを選択する。
(STEP1 =パターン 1 … STEP16 =パターン 16)



- 3 **○** オグジュアリーボタン左 **MENU** を押し、PATTERN MENU を表示する。



- 4 EDIT CURRENT PTN を選択して **OK** ボタンを押し、TRACK EDIT メニューを表示する。
- 5 編集したい機能を選択して **OK** ボタンを押す。



パターンの保存と管理

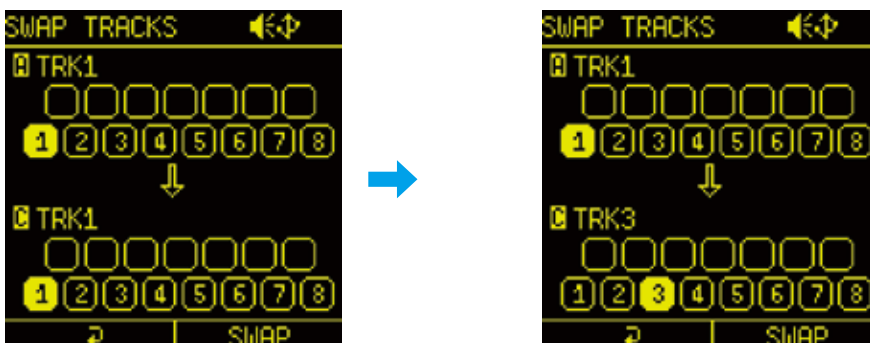
トラックをスワップ(入れ替え)する

- 1 SWAP を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブを回して、入れ替えたいトラックを選択する。

- 3 **C** ノブを回して、入れ替え先のトラックを選択する。



- 4 **O** グジュアリーボタン右 **SWAP** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



パターンの保存と管理

トラックをコピーする

- 1 COPY を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブを回して、コピーするトラックを選択する。

- 3 **C** ノブを回して、ペーストするトラックを選択する。



- 4 **O**グジュアリーボタン右 **COPY** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



パターンの保存と管理

トラックを移動する

- 1 MOVE を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 **A** ノブ回して、移動したいトラックを選択する。
- 3 **C** ノブをまわして、移動先のトラックを選択する。



- 4 **O** オグジュアリーボタン右 **MOVE** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



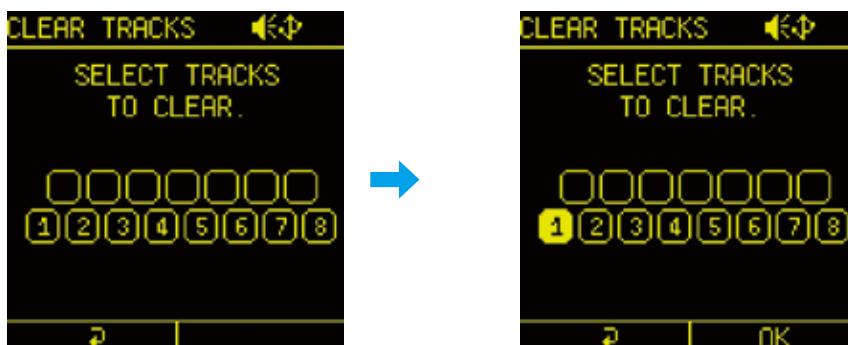
パターンの保存と管理

トラックをクリア (初期化) する

- 1 CLEAR を選択して **OK** ボタンを押す。



- 2 トラックパッドを押してクリアしたいトラックを選択する。



- 3 オグジュアリーボタン右 **CLEAR** を押し、YES を選択して **OK** ボタンを押す。



ソングの作成

Lofi-12 XT は、作成したパターンを指定して連続で再生することができるソング機能が搭載されています。

ループ回数、パターン毎の小節数やテンポを自由に指定して 1 つの楽曲を作り上げることができます。

ソングを再生する

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 SONG を選択して、**OK** ボタンを押す。
- 3 **OK** + **▶** を押して、SONG を再生する。
SONG 再生中は **▶** が黄点灯します。



- ・ SONG 再生中に **OK** + **PTN** を押すことで、再生中のパターンをループ再生できます。
もう一度 **PTN** を押すことでソング再生に戻ります。
 - ・ SONG 再生中のパターンループは **PTN** が黄色点灯します。
-

ソングの作成

ソングを編集する

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 編集したい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

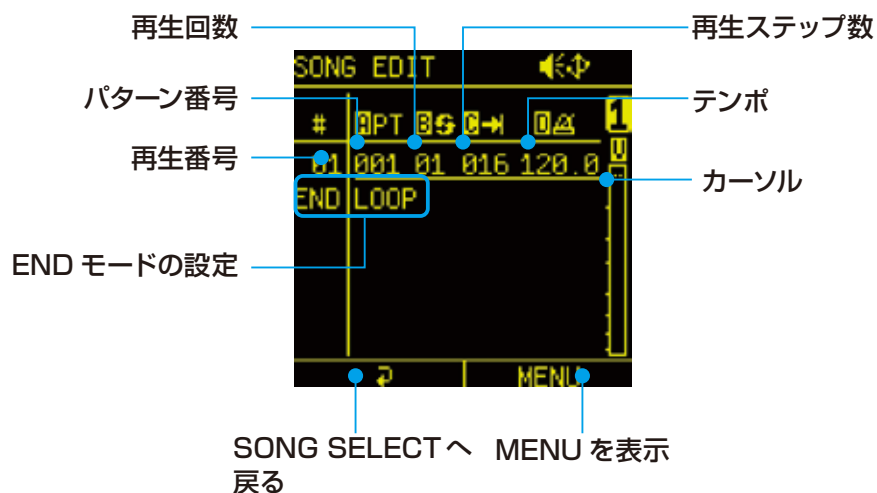


- 3 EDIT を選択し、**OK** ボタンを押して SONG EDIT を表示する。

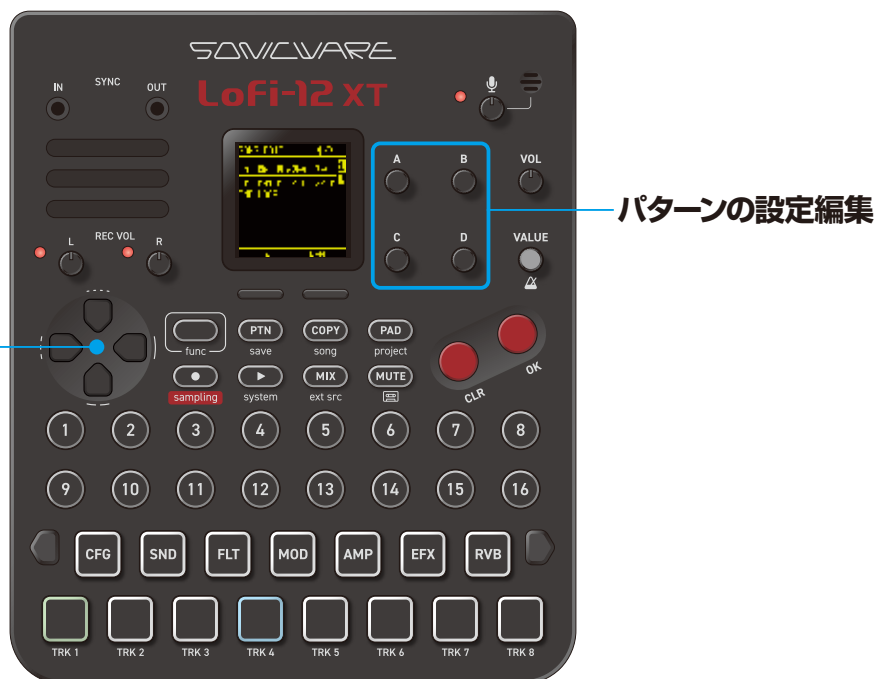


ソングの作成

SONG EDIT の基本操作



カーソルの移動
十字キーを押して、カーソルを上下左右に移動します。




ソングの作成

SONG EDIT の基本操作

- 1  A ~ D を操作してパターンを設定する。



- 2  オグジュアリーボタン右を押して、パターンの挿入、削除、有効 / 無効を設定をする。



SONG EDIT MENU

INSERT	選択しているパターンの直後に新しいパターンを挿入します。
DELETE	選択しているパターンを削除します。
ENABLE	選択しているパターンの有効 / 無効を設定します。



- ・1つのソングに登録できるパターンは最大 99 個です。

ソングの作成

SONG EDIT	
Ⓐ ノブ	パターンの選択
	(END モード選択時) ONCE: ソングの最終パターンの再生後、ソングをループ再生せずに停止します。 LOOP: ソングの最終パターンの再生後、#01 からループ再生します。
Ⓑ ノブ	パターンの再生回数
Ⓒ ノブ	パターンの再生ステップ数
Ⓓ ノブ	パターンのテンポ

3 手順 1 ~ 2 を繰り返してソングを作成する。

4 編集が完了したら  オグジュアリーボタン左で SONG EDIT を終了する。

ソングの作成

ソングをリネームする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 リネームしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。
- 3 **RENAME** を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 名前をつけて、**○** オグジュアリーボタン右を押してリネームを完了する。



ソングの作成

ソングをクリアする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 クリアしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 CLEAR を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 YES を選択して、**OK** ボタンを押す。



- ・一度クリアしたソングはプロジェクトからも削除され、元に戻せません。本操作は慎重に行ってください。

ソングの作成

ソングをコピーする

- 1 **func** + **copy** song を押して、SONG SELECT メニューを表示。



- 2 コピーしたい SONG にカーソルを合わせて、**○** オグジュアリー右ボタン **MENU** を押す。

- 3 **COPY** を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 4 コピー先の SONG を選択して、**OK** ボタンを押す。



プロジェクトの管理

プロジェクトメニューでは、プロジェクトの保存や削除、サンプルスロットの管理、オーディオファイルのコンバートなど行います。
必要に応じてメニューを選択して実行します。

func + **PAD** project を押して、PROJECT MENU を表示します。

新規プロジェクトを作成する

- 1 PROJECT MENU で SELECT/NEW を選択。



- 2 EMPTY を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 3 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択して、**OK** ボタンを押す。



プロジェクトの管理

プロジェクトを保存する

- 1 PROJECT MENU で SAVE を選択。



- 2 YES を選択して、 ボタンを押す。



プロジェクトの管理

別のプロジェクトとして保存する

- 1 PROJECT MENU で SAVE AS を選択。



- 2 任意の保存先を選択して、**OK** ボタンを押す。



- 3 十字キーと **OK** ボタンを押して名前を変更し、**○** オグジュアリーボタン右 **OK** を押す。





保存をキャンセルする場合は、**○** オグジュアリーボタン左の**戻る**を押します。

プロジェクトの管理

プロジェクトをリネームする

- 1 PROJECT MENU で RENAME を選択し、 ボタンを押す。



- 2 十字キーと  ボタンを押して名前を変更し、 オグジュアリーボタン右 **OK** を押して編集を完了する。



プロジェクトの管理

プロジェクトを削除する

- 1 PROJECT MENU で DELETE を選択し、 ボタンを押す。



- 2 YES を選択して  ボタンを押す。



- ・削除したプロジェクトは削除前には戻せないなので、本操作は慎重に行ってください。
-

MIX TAPE 機能

Lofi-12 XT は、再生中の音声をバックグラウンド録音することができる MIX TAPE 機能を搭載しています。



MIX TAPE		
Ⓐ ノブ	CASSETTE	MICRO、MICRO ST、Type I OLD、Type I、Type II、DAT: CASSETTE タイプの変更 (→ P.127)
Ⓒ ノブ	ENABLE	OFF、ON: ON に設定するとパターン再生時にバックグラウンド録音を開始します。
Ⓓ ノブ	MONITOR	OFF、ON: ON に設定すると MIX TAPE で録音されるサウンドをモニターします。



- ・MIX TAPE 機能の録音は、再生の停止後、無音 (-100dB ほど) になると自動的に止まります。

MIX TAPE 機能

ミックステープのタイプを変更する

- 1  A ノブを回して、TYPE を変更する。

CASSETTE	
DAT	48k/16bit で録音された DAT コンパクトカセットの音質をシミュレート
TYPE II	ハイポジションのカセットテープの音質をシミュレート
TYPE I	ノーマルポジションのカセットテープの音質をシミュレート
TYPE I OLD	経年劣化したノーマルポジションのカセットテープの音質をシミュレート
MICRO ST	ステレオ録音に対応したマイクロカセットテープの音質をシミュレート
MICRO	マイクロカセットテープ(モノラル録音)の音質をシミュレート



- ・MIX TAPE 機能の録音は、最大 3 時間まで、48kHz/16bit ステレオ WAV ファイルで記録されます。

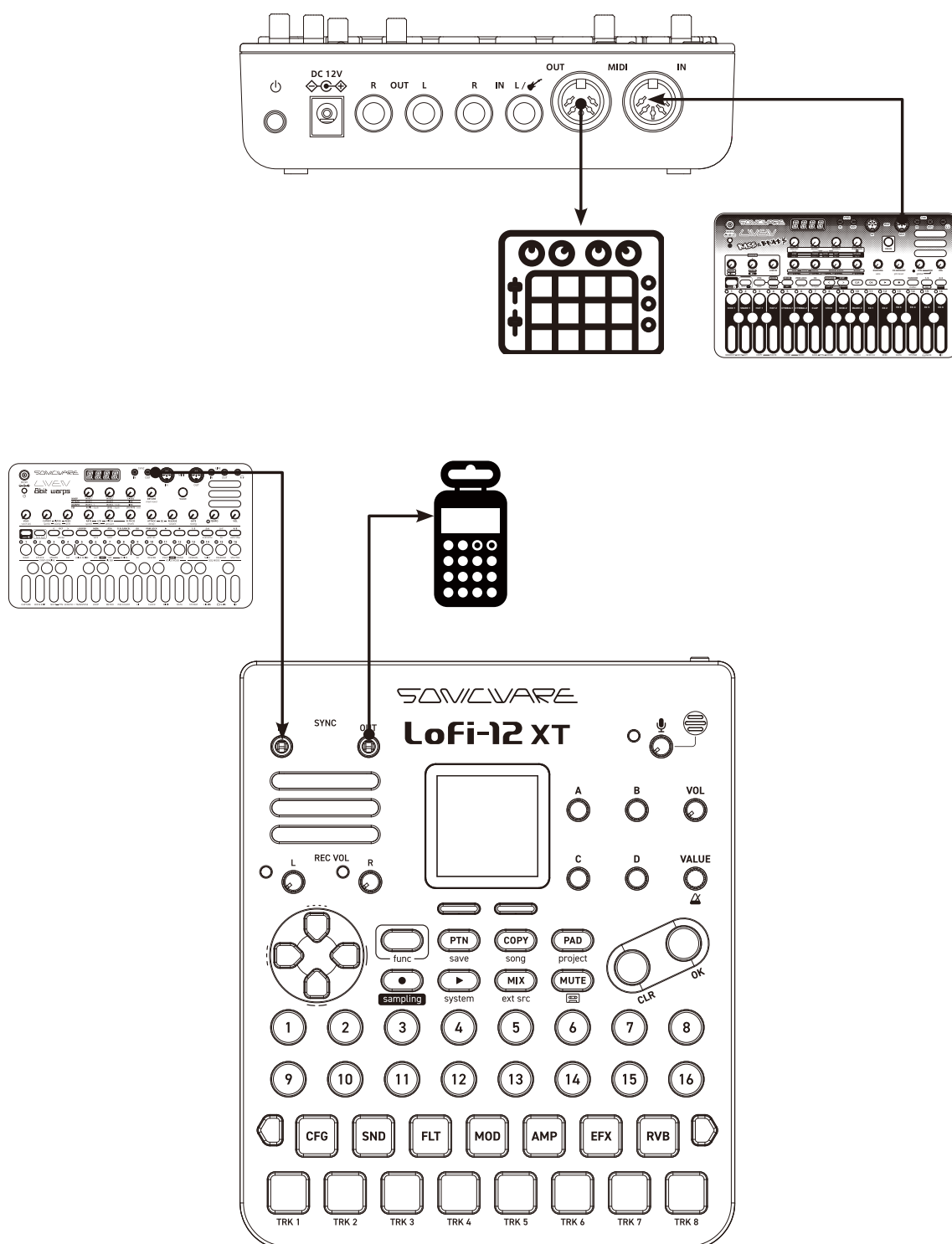
これらは "MixTape" フォルダ内に最大 20 ファイル (10 ファイル x 2 フォルダ) が保管され、このファイル数を超えた場合は、古いフォルダのファイルが全て消され、そこに新しいファイルが生成されます。

外部機器とのクロック同期

MIDI 端子 / SYNC 端子と、外部のシンセサイザーやドラムマシンなどを接続し、複数のデバイスを同期させて一緒に使うことが可能です。

外部機器との接続

- 1 MIDI 端子もしくは、SYNC 端子と外部機器を接続する。



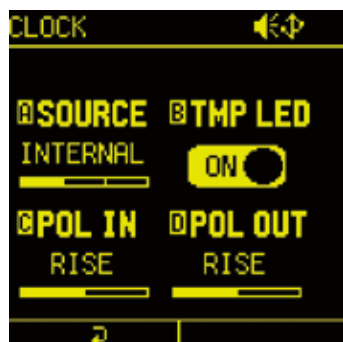
外部機器とのクロック同期

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 CLOCK を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 CLOCK 設定が表示されるので、各項目を設定する。



外部機器とのクロック同期

CLOCK	
SOURCE	<p>INTERNAL: Lofi-12 XT の内部クロックで動作します。 単体で使う時や、外部デバイスと同期する場合は、 マスターとして動作します。</p> <p>MIDI: MIDI IN から受ける MIDI クロックに同期します。</p> <p>SYNC: SYNC IN から受けるクロック信号に同期します。</p>
TEMPO LED	同期しているテンポに合わせて、LED が光ります。 OFF に設定すると、通常再生での LED の点滅も 消えます。
POLARITY IN	SYNC IN 端子の極性を RISE (+ / 波形 の立ち上がり) と FALL (- / 波形の立ち 下がり) で切り替えます。接続する外部デバイスの SYNC 極性と合わせてください。
POLARITY OUT	SYNC OUT 端子の極性を RISE (+ / 波 形の立ち上がり) と FALL (- / 波形の立 ち下がり) で切り替えます。接続する外部デバイス の SYNC 極性と合わせてください。

MIDI

トラックの MIDI チャンネルを設定する

Lofi-12 XT の各トラックに、MIDI チャンネル番号を設定できます。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



3 TRACK を選択し、**OK** ボタンを押す。



4 変更したいトラックを選択し、**Ⓜ**A ノブでチャンネルを変更する。



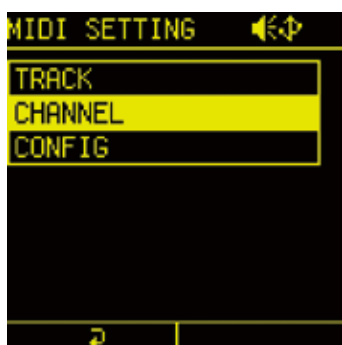
MIDI

本体の MIDI チャンネル設定

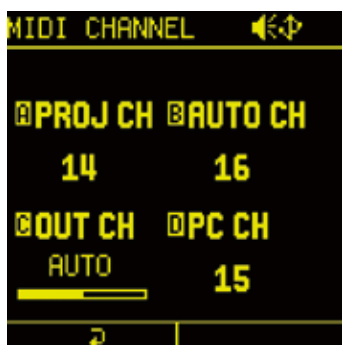
- 1 **func** + **system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



- 3 CHANNEL を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 変更したいノブを回して、設定する。



MIDI

MIDI CHANNEL		
Ⓐ ノブ	PROJECT CHANNEL	プロジェクトレベルなどプロジェクトに関するパラメーターの受信チャンネル
Ⓑ ノブ	AUTO CHANNEL	「OUT CHANNEL」で AUTO にした時に、使用するチャンネル
Ⓒ ノブ	OUTPUT CHANNEL	送信に関するチャンネル AUTO: Auto Channel 番号を使用する TRACK: 各トラックに設定したチャンネル番号を使用する
Ⓓ ノブ	PC CH	プログラムチェンジの送受信に使用するチャンネル

MIDI

その他の MIDI 設定を変更する

- 1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 MIDI を選択し、**OK** ボタンを押して、MIDI SETTING を表示。



- 3 CONFIG を選択し、**OK** ボタンを押す。



MIDI



MIDI CHANNEL 1/3

INPUT FROM	MIDI 受信する端子の切り替え
OUTPUT TO	MIDI 送信する端子の切り替え
TX NOTE	ノート情報の送信の ON / OFF
TX CC	コントロールチェンジの送信の ON / OFF



MIDI CHANNEL 2/3

CLOCK OUT	クロック送信の ON / OFF
OUT / THRU	MIDI OUTとTHRU の切り替え
COMMAND	コマンド情報の受信 (RX) と送信 (TX) の設定
TX PC	プログラムチェンジの受信 (RX) と送信 (TX) の設定

MIDI



MIDI CHANNEL 3/3

ACTIVE SENS

アクティブセンシングの受信 (RX) と送信 (TX) の設定

パッド感度を変更する

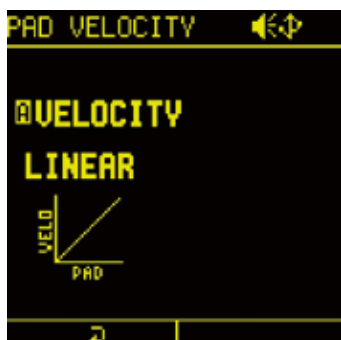
パッドの Velocity カーブを変更します。

1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 PAD VELOCITY を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 **ⓂA** ノブを回して、変更する。



PAD VELOCITY	
1 ~ 127	Velocity が常に固定値になります。
SOFT	軽く叩く方向け 軽く叩いても強く鳴ります。
LINEAR	パッドを叩く強さに応じて Velocity がリニアに変化します。
HARD	強く叩く方向け

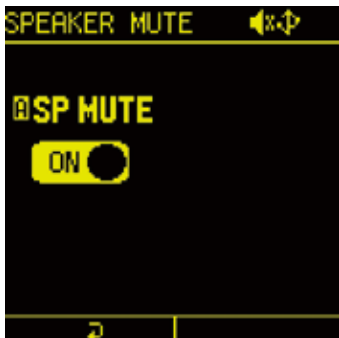
内臓スピーカーをミュートする

内臓スピーカーを常にミュートします。

- 1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 SPEAKER MUTE を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 3 **Ⓜ**A ノブを回して、ON に設定する。



SPEAKER MUTE	
ON	ミュートオン
OFF	ミュートオフ

カード機能

カードリーダーモード

サンプリングしたオーディオファイル、Mix Tape ファイル、ユーザーデータのバックアップを保存したい場合などに PC/Mac からアクセスすることができます。

また、オーディオファイルのインポートやファームウェアのアップデート時にも使用します。

- 1 USB ケーブルで PC/Mac と接続する。
- 2 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 3 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 CARD READER を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 5 現在のプロジェクトを保存する場合は YES を選択し、**OK** ボタンを押す。

カード機能

カードをフォーマットする

- 1 **func** + **▶system** を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 3 FORMAT を選択し、**OK** ボタンを押す。



- 4 YES を選択し、**OK** ボタンを押す。



- ・SDHC 32GB まで対応しています。
- ・ファイルのフォーマットに数分程度の時間がかかります。
- ・カード内の全てのデータが消去されます。プリセットデータは PC/Mac へバックアップを取ることをお勧めします。

カード機能

カードのパフォーマンステスト

お使いのカードのパフォーマンスを測定し、Lofi-12 XT で利用可能か判定します。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 CARD を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 PERFORMANCE TEST を選択し、**OK** ボタンを押す。



4 **OK** ボタンを押すとテストが実行されます。



RESULT : OK	Lofi-12 XT で利用可能です
RESULT : NG	Lofi-12 XT では利用できません

電源の設定を変更する

バッテリータイプを変更する

Lofi-12 XT で使用する乾電池の種類を変更することで、上部のバッテリーアイコンが正しく表示されます。

1  +  を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 BATTERY を選択し、 ボタンを押す。



3  A ノブを回して、変更する。



BATTERY TYPE	
Alkaline	アルカリ電池
NiMH	ニッケル水素電池
Lithium	リチウム電池

電源の設定を変更する

AUTO POWER OFF を設定する

自動でシャットダウンする時間を設定します。

1 **func** + **system** を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 AUTO POWER OFF を選択し、**OK** ボタンを押し。



3 **A** ノブを回して、任意の時間 (30 分～ 6 時間) もしくは AUTO POWER OFF の無効 (Off) に設定する。



Lofi-12 XT を工場出荷時の状態に初期化する

Lofi-12 XT の本体設定を工場出荷時の状態に戻します。

1 **func** + **▶** system を押し、SYSTEM MENU を表示。

2 RESET を選択し、**OK** ボタンを押す。



3 YES を選択し、**OK** ボタンを押す。

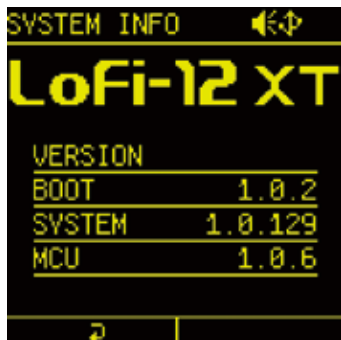


- ・カード内ストレージのデータは消えません。カードをフォーマットするには「カードをフォーマットする」(→ P.140) をご覧ください。
- ・プリセットデータは工場出荷時の状態に戻せません。PC/Mac へバックアップを取ることをお勧めします。

システム情報

システムバージョン情報を確認する

- 1 **func** + **▶**system を押し、SYSTEM MENU を表示。
- 2 INFORMATION を選択し、**OK** ボタンを押す。



Lofi-12 XTのファームウェアをアップデートする

Lofi-12 XT と PC/Mac を USB で接続し、アップデート用ファイルを Lofi-12 XT で使用中のカード内にコピーすることで、Lofi-12 XT のファームウェアをアップデートすることができます。

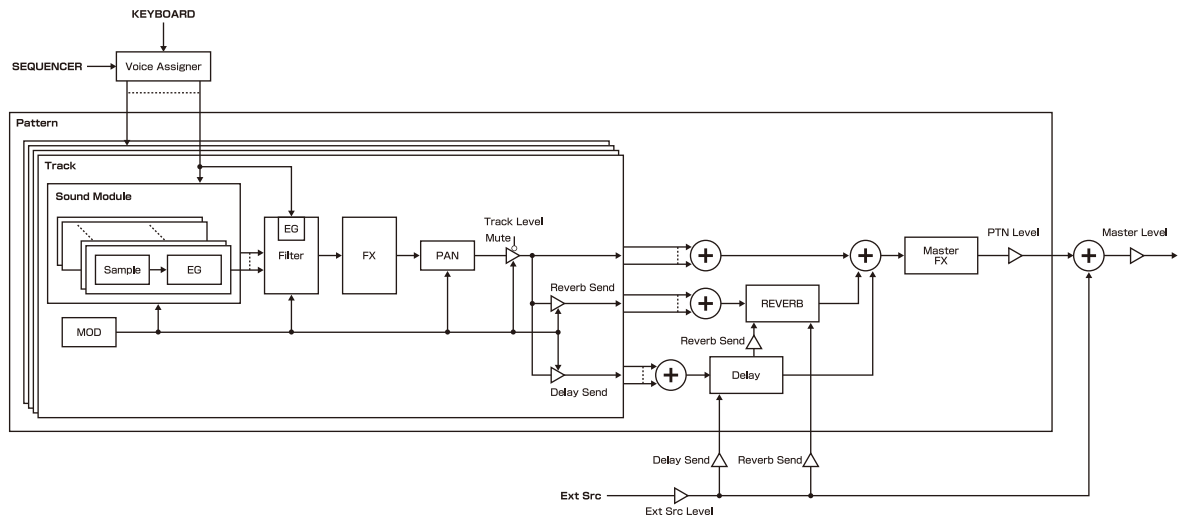
- 1 ダウンロードした最新のファームウェア (.bin) をカードのルートフォルダにコピーする。

名前	種類
 Lofi-12XT	ファイル フォルダー
 Lofi-12 XT.bin	BIN ファイル

- 2 **PAD** を押しながら電源ボタンを長押しする。
- 3 SYSTEM UPDATE を選択し、**OK** ボタンを押す。
- 4 YES を選択し、**OK** ボタンを押して、アップデートを開始する。
- 5 完了後、電源ボタンを押してシャットダウンし、再度起動する。

付録

サウンドアーキテクチャ



ハードウェア仕様

パッド	ベロシティ対応 フルカラー LED パッド x 15
コントローラー	コントロールノブ x 5, 十字キー, 2 ボタンコントロール
ディスプレイ	1.5 インチ OLED ディスプレイ
内臓マイク	モノラル x 1 (無指向性, 94dB SPL)
内臓スピーカー	モノラル x 1 (1.5W 40hm)
オーディオ入力	<p>インプット L : LINE、エレキギター / ベース (インピーダンス切替式 : 10kOhm or 1M0hm) [LINE ゲイン] PAD:-20dB [Hi-Z ゲイン] LOW: 0dB, NORMAL:+10dB, HI: +20dB</p> <p>インプット R : LINE、ダイナミックマイク [LINE ゲイン] PAD:-20dB [Hi-Z ゲイン] LOW: 0dB, NORMAL:+28.8dB, HI: +50dB</p>
オーディオ出力	<p>ステレオ LINE 出力 (最大 +6.5dBV) ※上記ジャックは全て 1/4TRS Phone コネクター ヘッドホン端子 : 3.5mm ステレオタイプ</p>
USB 端子	<p>micro USB Type-B [USB オーディオ] USB 2.0 FULL SPEED, 48kHz-16bit 入力 : 2 チャンネル, 出力 : 2 チャンネル] [マストレージクラス] USB 2.0 HIGH SPEED ※ iPhone の場合、Apple Lightning - USB カメラアダプターが別途必要です。</p>
MIDI 端子	<p>MIDI IN (5-Pin DIN type) MIDI OUT (5-pin DIN type)</p>
他コネクター	<p>SYNC IN ジャック (3.5mm モノラルミニタイプ) SYNC OUT ジャック (3.5mm モノラルミニタイプ) SD カードスロット (標準サイズ ※ 32GB までの SDHC カードに対応) DC IN 電源コネクター</p>
背面ねじ穴	三脚等マウント用 1/4-20UNC
サイズと重量	<p>横幅 : 147mm 奥行 : 175mm 高さ : 46mm 重量 : 550g (本体のみ)</p>
電源	<p>DC12V 出力電源アダプター (500mA, 内径 : 2.5mm, 外径 : 5.5mm, 極性 : センター +) Ni-MH 単 3 充電電池またはアルカリ、リチウム単 3 乾電池 x 6 (アルカリ乾電池 使用時間 : およそ 4 時間) ※電池別売り</p>
付属品	<p>32GB SDHC カード (2,500 超のサンプル収録) 電源アダプター 保証書 ※ USB ケーブルや他の接続ケーブル類は別売りです。</p>